



CoinGecko

# 2023

## 仮想通貨業界 レポート

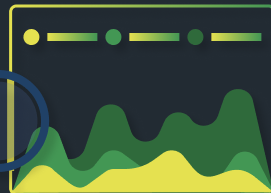
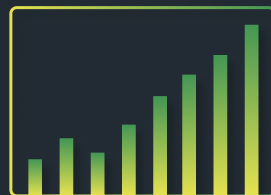
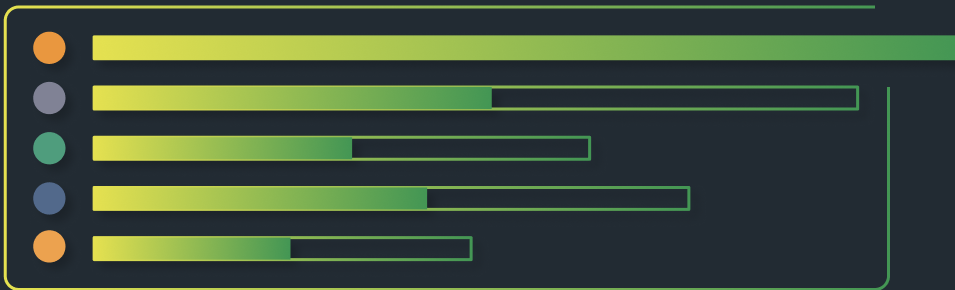
協賛:

**Bingx**



メディアパートナー:

**Pacific Meta**



市場データ。分析。クラウドソーシングによる洞察。

創設者からのメッセージ	2
市場の展望	3
- 2023年 暗号資産市場全体の概観	
- 2023年 暗号資産のドミナンス	
- 2023年 暗号資産のプライスリターン	
- 2023年 ステアブルコインTOP15の概要	
- 2023年 暗号資産全体&Bitcoinの時価総額とS&P500の比較	
- 2023年 トレンドとなった暗号資産領域	
- 2023年 注目すべきイベントのタイムライン	
- 2023年 注目すべきバグとエクスプロイト	
Bitcoinの分析	13
- 2023年 Bitcoinの価格と取引量の比較	
- 2023年 Bitcoinのハッシュレート	
- 2023年 Bitcoinと主要なアセットクラスのプライスリターン比較	
- Incriptions(インスクリプション)	
Ethereumの分析	18
- 2023年 Ethereumの価格と取引量の比較	
- 2023年 Ethereumのコンセンサスレイヤーにおけるステーキング	
- 2023年 Ethereumのバーンレート	
- 2023年 レイヤー2の採用	
Solanaの分析	23
- 2023年 Solanaの価格と取引量の比較	
- 2023年 Solanaオンチェーン上での各指標の成長	
- 2023年 Solanaのハイライト	

DeFiの分析	28
- 2023年 DeFiの概観	
- 2023年 DeFi vs TradFiの金利比較	
- 2023年 DeFiマルチチェーンのマーケットシェア	
- 2023年 DeFiエコシステムの概要	
- 2023年 クロスチェーンブリッジの流動性	
- 2023年 DeFiのハイライト	
Non-Fungible Tokens(NFTs)の分析	36
- 2023年 NFT取引量上位10チェーンの比較	
- 2023年 NFTプラットフォームの取引高比較	
- 2023年 NFTの貸出高	
- 2023年 NFTのハイライト	
- 2023年 GameFiのハイライト	
暗号資産取引所の分析	42
- 2023年 暗号資産取引所取引高上位	
- 2023年 スポット中央集権型取引所取引量トップ10	
- 2023年 スポット分散型取引所取引量トップ10	
- 2023年 スポット分散型取引所取引量のチェーン別割合	
- 2023年 中央集権型の永久先物取引所取引量トップ10	
- 2023年 中央集権型の永久先物取引所建玉金額トップ10	
- 2023年 分散型永久先物プロトコル取引量トップ10	
- 2023年 分散型永久先物プロトコルの建玉金額トップ10	



## 創設者からのメッセージ

2023年第4四半期を要約するとしたら、「ETF(上場投資信託)への期待が暗号市場を熱狂の渦に巻き込んだ」と表現されうるだろう。米国のスポット型Bitcoin ETFの承認が近づいているとの新たな報告があるたびに、市場の地合いは強気に転じた。第4四半期だけで、暗号資産市場全体の時価総額は1.1兆ドルから1.6兆ドルへと55%上昇し、Bitcoinの価格も2.7万ドルから4.2万ドルへと急上昇した。2023年全体を通しては、Bitcoin(2.6倍)の各指標の急速な復活に牽引され、暗号資産市場の総額は年初の832億ドルから2倍以上に増加した。2022年のドラマと低迷の後、2023年は業界にとって力強い回復の年となったと言えるだろう。

今年の注目すべき出来事を振り返ってみると、暗号資産が法的機関と多くの揉め事を起こしていることがわかる。2023年には非常に多くの訴訟、逮捕、有罪判決、和解、破産手続きが実施され、11月にBinanceが米国当局と43億ドルで和解に至った。これらの事件のほとんどが解決またはそれに近い状態にあるとはいえ、以前のサイクルで生まれてしまった罪を最終的に帳消しにできればどんなに喜ばしいだろう...

なぜなら最近、新しい画期的な開発が前面に出てきており、暗号資産領域には我々を興奮させるようなことが数多くあるからだ！様々なプロジェクトが売り人気の市場を乗り越えて構築され、現在その成果を披露している。EthereumとEVMのエコシステムでは、World computerをスケーリングさせようとするレイヤー2のチェーンが爆発的に増加した。当初は楽観的あるいはゼロ知識ベースでのロールアップから始まったが、新たな技術革新によりモジュール化や並列化などのさらなる可能性が導入され、ユーザーや開発者により大きな選択肢が与えられたのである。暗号資産のインフラが進歩し続ける一方で、現在の焦点は、次の流行で参入することが期待されるユーザーたちを暗号資産に定着させることができるようなdAppsの構築に移っている。

FTXの崩壊後、ほとんど見放されていたSolanaのエコシステムは、2023年に灰の中から立ち上がり、EVMのドミナンスに対して強力な挑戦を行っている。アップグレードにより基盤のネットワークの安定性が向上し、Solana上のプロジェクトたちは現在、安価な手数料で高性能なモノリシックチェーンの利点を披露している。また、長期的なユーザーたちがSolana上の各プロジェクトからのエアドロップで報われたことで、Solanaはさらに多くの注目を引き寄せている。Solanaは2024年に向けて大きな勢いを見せており、各チームがそれを持続可能なエコシステムとコミュニティの構築にどのように活かしていくのかの動向は注目の的である。Bitcoinの話題以外の話題に戻すと、Ordinalsによって最初に開拓されたInscriptions(インスクリプション)の創出を無視することは難しかった。Inscriptionsは現在では代替可能なトークンやNFTを発行するための多くの異なる技術標準として広がっている。これらのプロジェクトによる実用性はまだまだ観察されていないが、この新たなイノベーションはBitcoinのブロックチェーンを間違いなく豊かなエコシステムにしている(同時のその過程でマイニングを行う人々も豊かになっている)。また、インスクリプションはBitcoinのスケーリングに関する話題に再び火をつけ、ドライブチェーンやより豊富なレイヤー2を用いることについて現在活発に議論されている。

残念ながら、暗号資産すべてが安楽な状態だったわけではない。NFT市場は今年大打撃を受け、フロア価格と取引量の両面で苦境に立たされた。いわゆるブルーチップコレクションの多くは、その評価を維持できず、野心を方向転換させるかあるいは大幅に縮小せざるを得なかった。

暗号資産の復活にあわせて、NFTを基盤としたユースケースの可能性を広げる動きが活発化することを期待したい。最後に、CoinGeckoでは、CoinGecko、GeckoTerminal、APIといった当社の主要製品ライン全体で目標を達成することに引き続き集中している。2024年は今のところ強気な見通しで、さらに我々が今取り組んでいることについて近い将来報告することが待ちきれない。前向きに取り組んでいく！



**Bobby Ong**  
COO

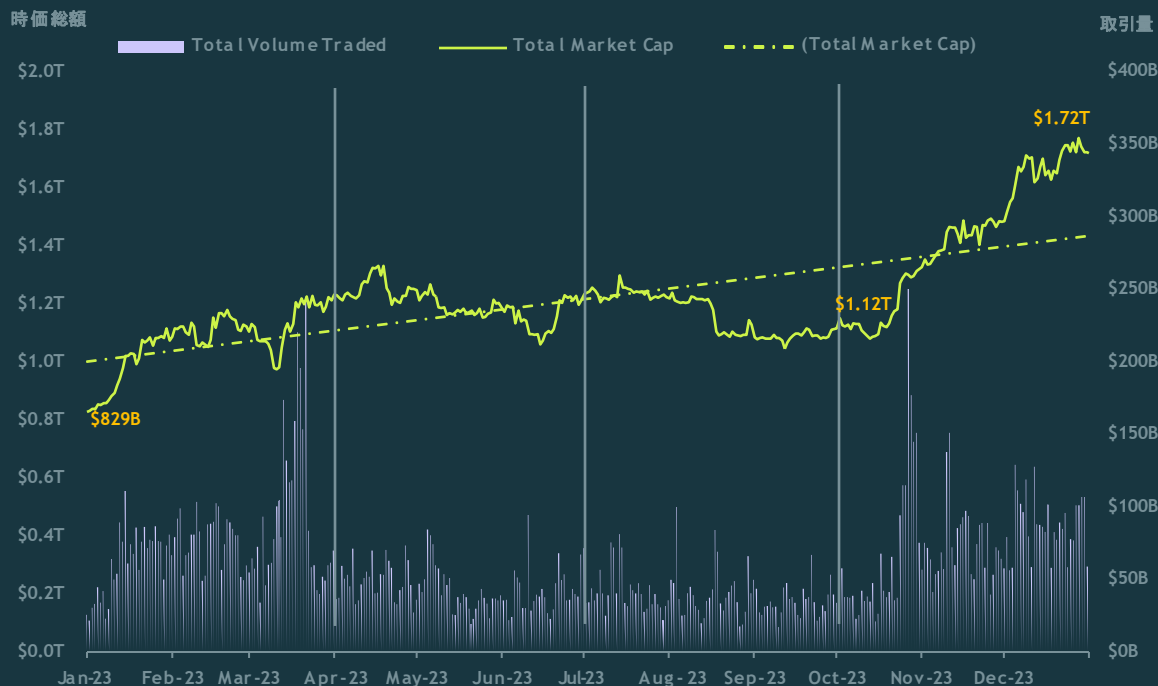
**TM Lee**  
CEO

# 市場の展望

## 2023年 暗号資産市場の概観

暗号資産市場全体の時価総額は2023年開始時点から2倍以上の大きさになり、8,290億ドルから1.72兆ドルまで増加した。そして、その増加額の70%は第4四半期に獲得されている。

時価総額とスポット取引量(2023年)



# +108.1%

2023年の暗号資産市場全体の  
時価総額の変化

2023年の暗号市場の時価総額は、マクロ経済情勢が厳しいという以前の予想にもかかわらず、**108% (+8690億ドル)**上昇した。2023年第4四半期だけで、暗号市場の時価総額は+54.3%、絶対値ベースでは**6,070億ドル**増加した。

第4四半期の平均取引高は前四半期比**91.9%増**の751億ドルだった。しかし2023年の全対を通じた取引高は2022比で**31.6%減**の589億ドルへと落ち込んだ

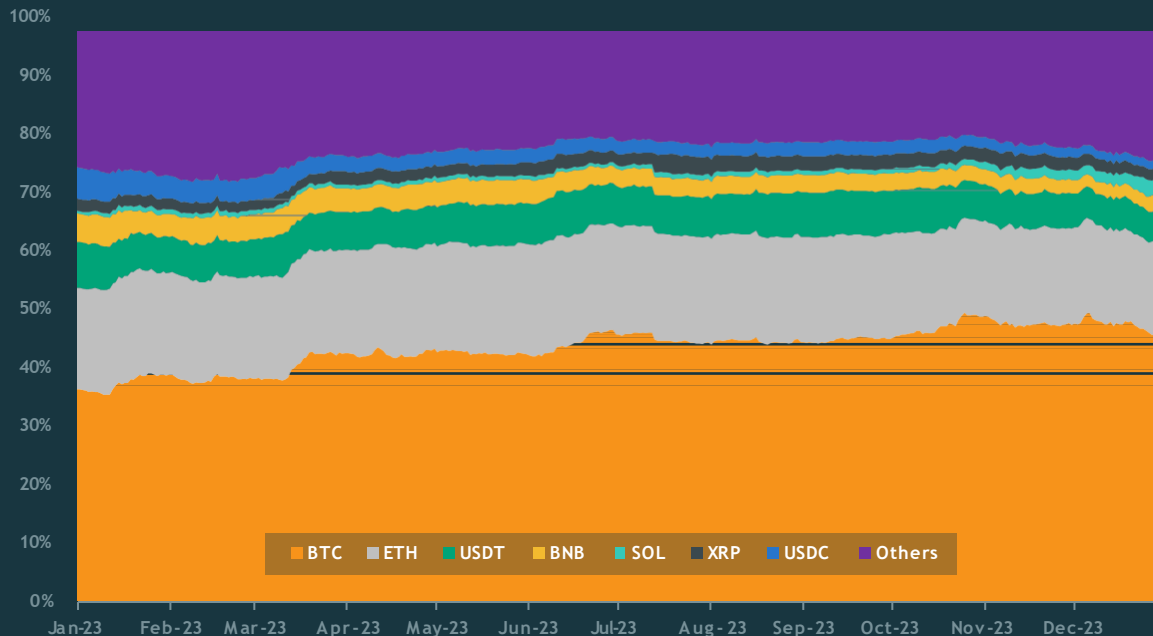
2023年第4四半期のトップ30の暗号資産の中で注目すべき動きには、**2022年末には18位だったSOLが7位から5位に上昇したこと**や**AVAXが22位から9位に上昇したこと**などが含まれている。

第3四半期での失墜を乗り越えて、**ICPが16位とトップ30に返り咲いた一方で、2023年ではNEAR (23位)、OP (26位)、そしてINJ (30位)などの銘柄が**HBAR, BUSD, XMR,そしてTUSDに代わってランクインした。

## 2023年 暗号資産のドミナンス

Bitcoinのドミナンスは2023年に9.2%増加して47.8%に到達にした一方で、ステーブルコインであるUSDTとUSDCは時価総額上位7番目までの暗号資産の中で最もマーケットシェアを失った。

暗号資産のドミナンス (2023)



Bitcoinのドミナンスは2023年に急上昇し、38.6%から47.8%まで上昇した。ビットコインが投資家の注目を集めたためであり、その結果、他の主要暗号資産 (Solanaを除く)は苦境に立たされた。

暗号市場の成長に対して、**USDT (-2.7%)**と**USDC (-4.0%)**のドミナンスが低下したことは、市場への不換通貨の流入を示唆している。

Bitcoin以外では、**Solana**も2023年には**0.4%**から**2.5%**へとドミナンスが顕著に上昇し、それぞれ5位と6位であったXRPとUSDCを上回った。

## 2023年 暗号資産のプライスリターン

2023年における暗号資産市場のプライスリターンは、BTCの上昇により全面的に上昇-SOL、INJ、LEO、IMXが各カテゴリーで際立った実績を残している。

	2023 FY	2023 Q4	2023 Q3
<b>Top 5 Cryptocurrencies</b>			
BTC	155%	57%	-12%
ETH	91%	36%	-14%
BNB	27%	45%	-11%
SOL	917%	374%	13%
XRP	80%	19%	9%
<b>Top 5 DeFi Tokens</b>			
LINK	168%	83%	30%
UNI	40%	62%	-15%
INJ	2717%	366%	-4%
LDO	177%	56%	-17%
GRT	231%	105%	-15%
<b>Top 5 Exchange Tokens</b>			
BNB	27%	45%	-11%
OKB	10%	8%	-7%
LEO	111%	28%	-9%
CRO	77%	94%	-10%
KCS	59%	124%	-30%
<b>Top 5 Play-To-Earn Tokens</b>			
IMX	454%	261%	-21%
SAND	55%	91%	-26%
AXS	46%	93%	-23%
MANA	74%	68%	-20%
GALA	82%	113%	-42%

Top5の暗号資産の中で、**SOLは第4四半期に374%の利益を記録してトップパフォーマンスとなり、2023年全体を通して10倍の価格上昇を記録した。** BTCはETH(+91%)、XRP(+80%)、BNB(+27%)を上回り、155%の上昇を記録して2023年は2位に輝いた。

時価総額top10の暗号資産内では、AVAXも2023年に254%の上昇を記録し、BTCを上回った。

**INJは2023年に28倍の値動きで業界の話題を席巻し、DeFi暗号のトップ5に初めてランクインした。** これにGRT(+231%)、LDO(+177%)、LINK(+168%)、UNI(+40%)が続き、2023年末までにBTCを下回ったのはUNIだけであるなど、DeFiは比較的に強いカテゴリーとなった。

Top5以外ではRUNE(+300%)とMKR(+230%)も2023年に非常に大きな利益を記録した。

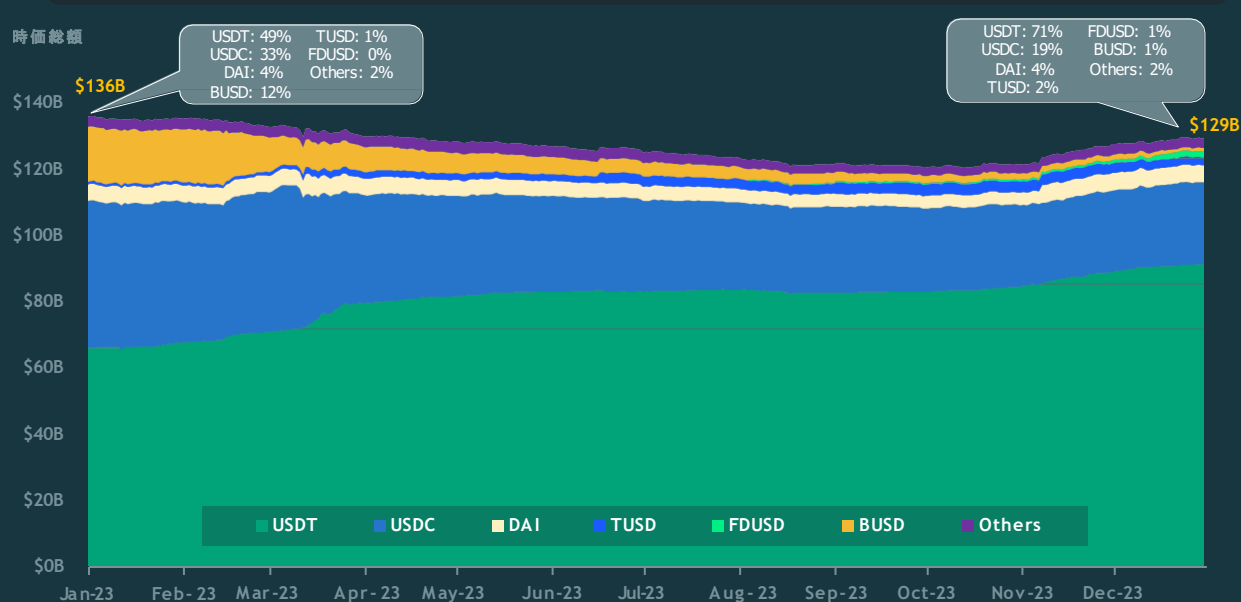
BNB(+27%)、OKB(+10%)、LEO(+111%)、CRO(+77%)、KCS(+59%)の**上位5つの取引所トークンはすべて2023年にプラスのリターンを記録したが、BTCを上回るものはなかった。** CEXトークンの時価総額で9位のWOOLは+230%のリターンを記録し、BTCと上位5つのCEXトークンを上回った。

**Top5のP2Eトークンのうち以下の4銘柄**-SAND(+55%)、AXS(+46%)、MANA(+74%)、and GALA(+82%)**も同様に2023年はBTCを下回ったが唯一の例外が454%の利益上昇を記録したIMXである。** 上位5銘柄以外では、WEMIX、RON、BEAMのリターンが目立ち、それぞれ+594%、+601%、+256%の上昇を記録した。

## 2023年ステーブルコインTOP15の概観

USDTは、2023年にマーケットシェアを49%から71%まで急激に上昇させたことで、Topステーブルコインとしての地位を確固たるものとしている。

ステーブルコイン市場規模上位15社の内訳 (2023年)



**-5.6%**


Top15ステーブルコインの  
前年同期比の時価総額

Top15のステーブルコインの時価総額は、第4四半期から2023年末に7.1%上昇する以前の第3四半期の11.3%の減少が響き、**全体で5%減少した**

BUSDの段階的廃止がほぼ完了し、FDUSDは現在Top5のステーブルコインに入った。**TUSDとFDUSDはそれぞれ\$15億ドルと18億ドルで同じような絶対的な利益を記録した一方で、DAIは2023年中比較的横ばいだった。**

BUSD以外では、**USDCが45%減、絶対額で200億ドル減と最大の損失を記録し**、2023年3月の米国銀行危機の際の一時的な取引停止以来、信用の喪失に苦しんでいる。**USDTは2023年に時価総額で255億ドル(38.5%増)、マーケットシェアでなんと22%と飛躍的な成果を残した。**

トップ5以外では、LSTにバックアップされたステーブルコインであるmkUSDとeUSDがTop15に入り、**GUSDとcrvUSDはランク外に脱落した**

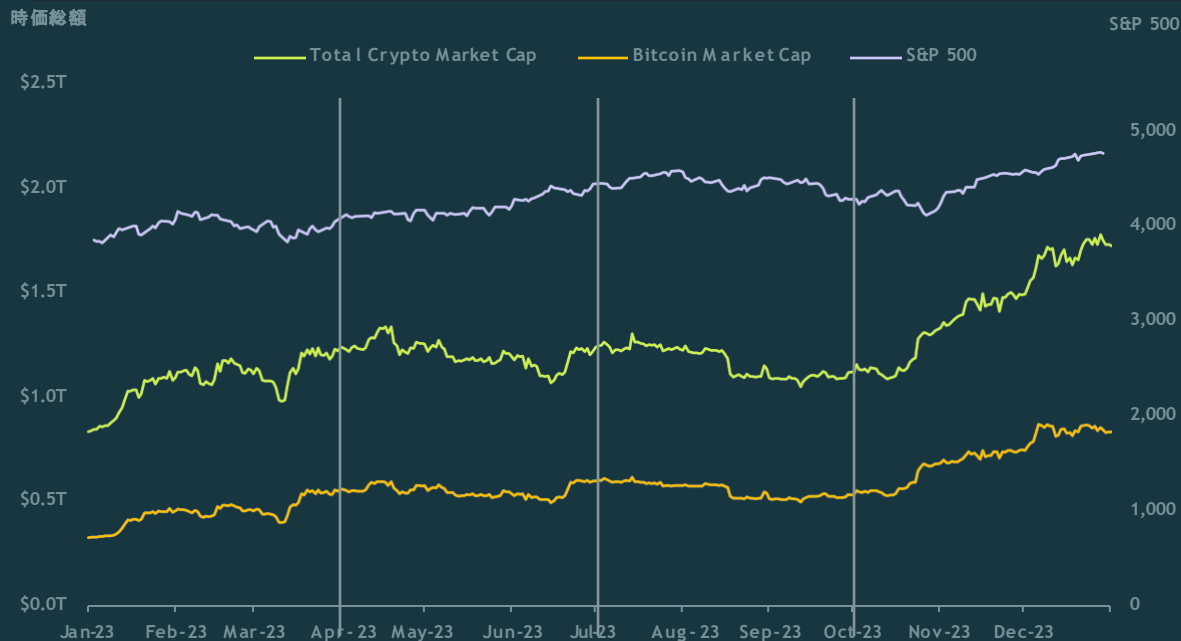
 <b>\$91.7B</b> +\$25.5B (+38.5%)	 <b>\$24.5B</b> -\$20.0B (-45.0%)	 <b>\$5.2B</b> +\$0.2B (+3.3%)	 <b>\$2.3B</b> +\$1.5B (+204.8%)	 <b>\$1.8B</b> +\$1.8B (+590.3%)
--	---	--	--	--



## 2023年 暗号資産全体&Bitcoinの時価総額とS&P500の比較

暗号資産時価総額とS&P500の相関は第2四半期に緩やかにマイナスに転じていたにも関わらず、2023年全体を通しての相関は0.65と緩やかな高水準を維持。

暗号資産の時価総額&BitcoinとS&P500の比較 (2023年)



Bitcoinは引き続き暗号市場の試金石であり、**暗号市場の時価総額との相関係数は0.97**である。

暗号市場とS&P500はともに2023年に上昇したが、**暗号資産全体の時価総額はS&P500と0.65程度しかなかった**。この数値は2023年第4四半期には0.86まで上昇した。興味深いことに、ビットコインはETFのニュースによって動かされ、**その価格はS&P500と高い相関性(0.74)を持つようになった**。2023年第4四半期には、両者の相関係数は0.81まで上昇した。

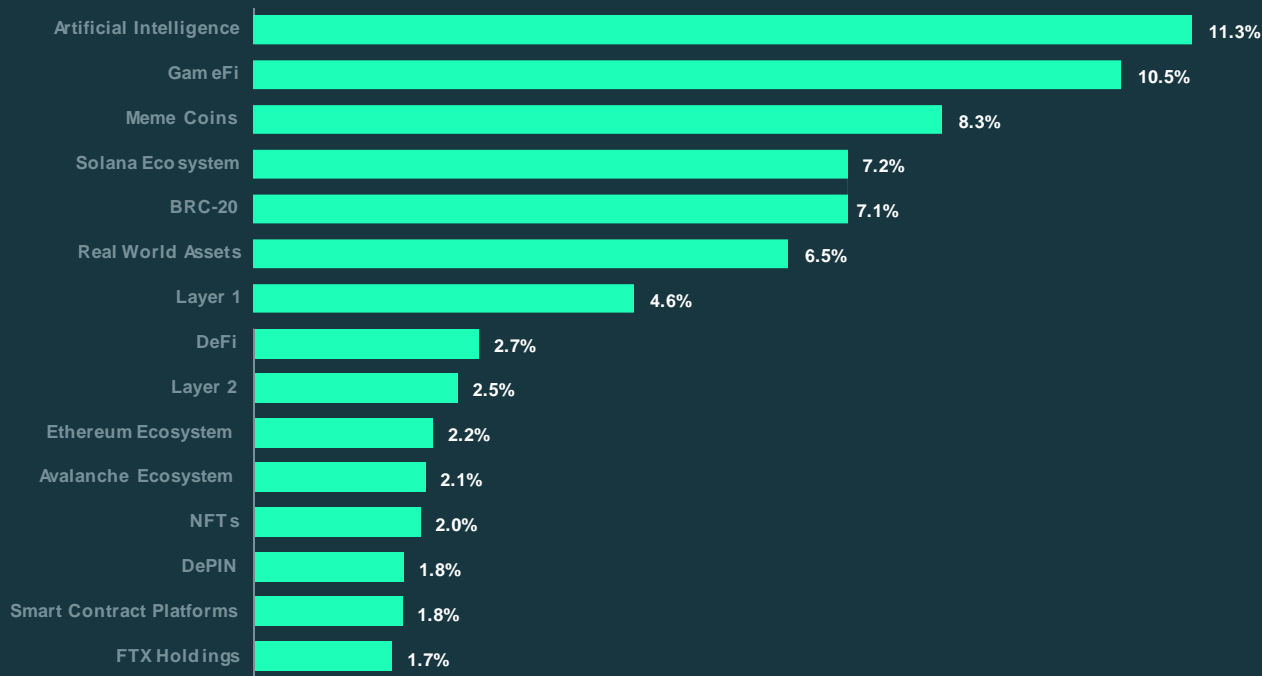
**暗号資産の時価総額の年率換算したボラティリティは38.6%**で、S&P500の15.9%より2.4倍程度高かった。

暗号資産の時価総額は108.1%上昇し、23.7%上昇したS&P500の4.6倍の上昇幅となった。

**Bitcoinは暗号市場全体よりも若干ボラティリティが高く、年率換算のボラティリティは43.2%**だった。同時に、S&P500の6.5倍となる155%の利益を上げた。

AI、GameFi、そしてミームコインが2023年の暗号資産領域で関心を獲得したトップカテゴリである。

CoinGeckoのウェブトラフィックにおけるカテゴリ別のシェア2023



# 72.3%

2023年 CoinGeckoカテゴリ別  
トレンドピック上位15が  
占めるシェア

人工知能 (AI)、GameFi、ミームコインが2023年に最も人気のあるカテゴリで、投資家の関心の3分の1を占めた。

Solanaエコシステム、BRC-20トークン、リアル・ワールド・アセット (RWA)も大きな注目を集め、今年それぞれ暗号資産のナラティブとして5%以上の関心を集めた。

49のブロックチェーンエコシステムのうち4つが、2023年の暗号資産所々のナラティブとして関心を惹いたトップ15に入った。

これらのエコシステムにはそれぞれ非常に強烈なナラティブがあった。2023年には、Solanaの死からの復活、BRC-20の導入、4月のEthereumで実施されたShapellaアップグレード、Solanaと同様の復活を遂げたAvalancheエコシステムなどが例としてあげられる。

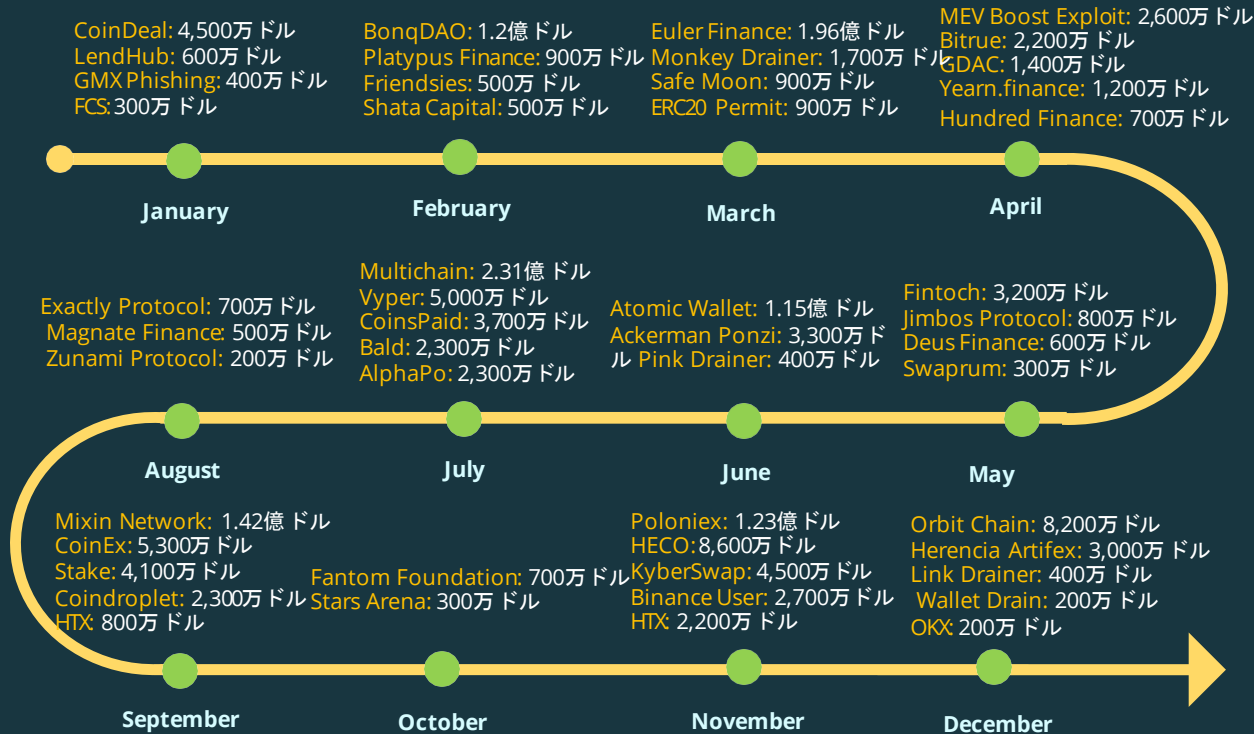
## 2023年注目すべきイベントのタイムライン

2023年は、年初に銀行危機とSECによる規制当局の監視があったが、その後、BlackRockによるBTC ETF、RippleとGlayscaleの勝利など、業界にとっていくつかの勝利があった。



## 2023年注目すべきバグとエクスプロイト

2023年には少なくとも463のエクスプロイトによって20億ドルが失われ、盗まれた総資金の66%が上位6つのハッキングによるものだった。



2023年最大のエクスプロイトはマルチチェーンブリッジのハッキングで、2023年7月に2.31億ドルが失われた。

その他の大規模なエクスプロイトには、Euler Finance(1.96億ドル)、Mixin Network(1.42億ドル)、Poloniex(1.23億ドル)、BonqDAO(1.2億ドル)、アトミックウォレット(1.15億ドル)などがある。

幸運なことに、オイラー・ファイナンス・ハックからの1.77億ドルはその後返還された。

TRM Labsによると、北朝鮮とつながるグループは30.6%を占めており、少なくとも2023年に盗まれた暗号通貨のうち6億ドルの盗難に関与している。この数字は依然として莫大だが、2022年度に盗難された暗号資産の総額である8.5億ドルからは減少していることを示している。

大きな恐怖を引き起こしたもう1つのエクスプロイトは、12月のLedgerエクスプロイトで、Ledger Connect Kitを使用していたdAppsに悪意のあるコードを注入した。幸い、このエクスプロイトはすぐに発見され、その後すぐに解決策が実施された。



## 暗号資産プロジェクト、開発者、トレーダー向けの信頼性が高く、正確かつ包括的な市場指標

- ✓ プロジェクトにおける暗号資産・NFTの提供を改善
- ✓ 時間とコストを節約 - 価格フィードのスクラッチ開発が不要
- ✓ エンドユーザーが市場のモメンタムを発見できるように支援
- ✓ DEXデータはご要望に応じて入手可能

**10,000+**  
コイン

**850+**  
取引所

**3,000+**  
NFT

**10B+**  
月当たりの通話数

**50**  
エンドポイント

**10年**  
過去データ

```

121- {
122-   "name": "vs_currencies",
123-   "in": "query",
124-   "description": "vs_currency of coins, comma-separated list of vs_currency\n*refers to <b>simple/supported_vs_currencies</b>",
125-   "required": true,
126-   "type": "string"
127- },
128- {
129-   "name": "include_market_cap",
130-   "in": "query",
131-   "description": "<b>true/false</b> to include market capitalization",
132-   "required": false,
133-   "type": "string"
134- },
135- {
136-   "name": "include_24hr_vol",
137-   "in": "query",
138-   "description": "<b>true/false</b> to include 24hr volume",
139-   "required": false,
140-   "type": "string"
141- },
142- {
143-   "name": "include_24hr_change",
144-   "in": "query",
145-   "description": "<b>true/false</b> to include 24hr change",
146-   "required": false,
147-   "type": "string"
148- },
149- {
150-   "name": "include_last_updated_at",
  
```

**simple** ^

- GET /simple/price
- GET /simple/token\_price/{id}
- GET /simple/supported\_vs\_currencies

**coins** ^

- GET /coins/list
- GET /coins/markets
- GET /coins/{id}
- GET /coins/{id}/tickers
- GET /coins/{id}/history
- GET /coins/{id}/market\_chart
- GET /coins/{id}/market\_chart/range
- GET /coins/{id}/status\_updates
- GET /coins/{id}/ohlc

**contract** ^

- GET /coins/{id}/contract/{contract\_address}
- GET /coins/{id}/contract/{contract\_address}/markets
- GET /coins/{id}/contract/{contract\_address}/markets/{market\_id}

新しい**デモAPIキー付きプラン**をお試しくささい🔑

すべてのCoinGeckoユーザーが無料で利用できます。  
月間通話数の上限は10,000件で、  
レート制限は30通話/分です。

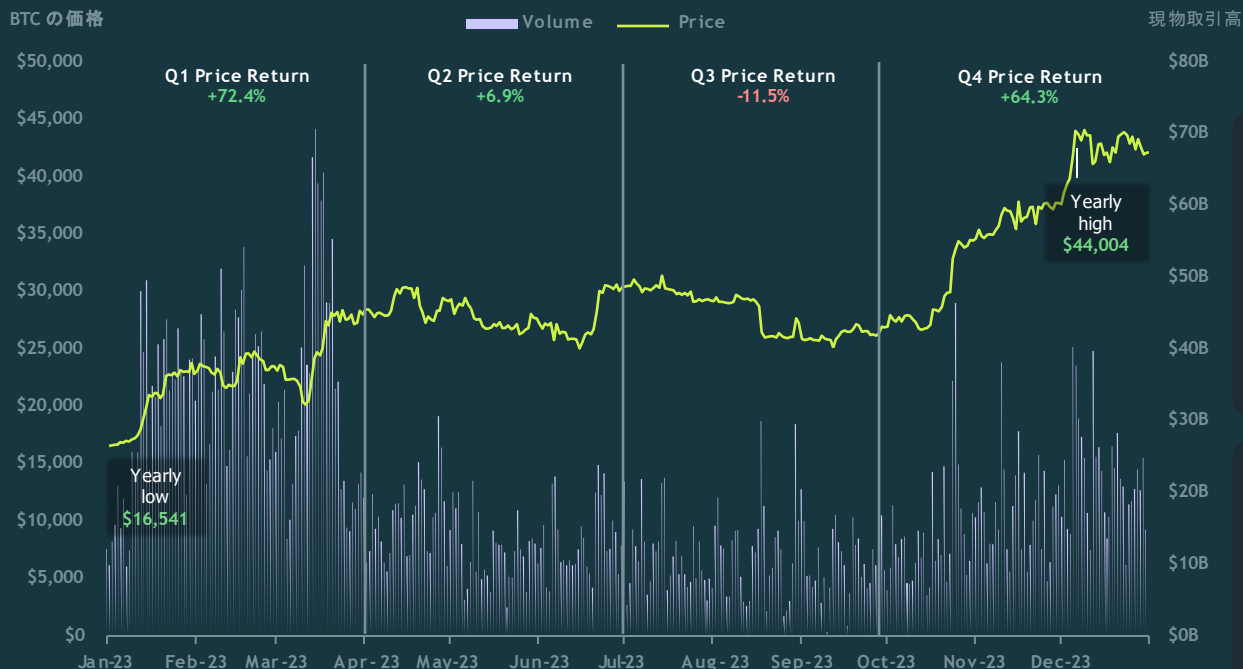
**デモAPIキーを取得する**

# BITCOINの分析

## 2023年 Bitcoinの価格と取引量の比較

第3四半期に市場が冷え込んだことを除けば、BTCは2023年を通して上昇し、最終的に155%の利益を記録して2023年を終えた。

Bitcoin価格と現物取引高(2023年)



# +155.2%

2023年  
Bitcoinの価格リターン率

**BTCは2023年に155%と大幅に上昇した。**  
BTCは第1四半期に力強い最初の上昇を見せ、第2四半期後半にはスポットBTCETFの申請が相次ぎ、さらに急騰した。

その後、市場は第3四半期に冷え込んだが、第4四半期にはビットコインETFのスポット承認への期待やFRBによる利下げ期待などを背景に力強く上昇した。

**平均出来高は第1四半期末ごろに急落し、第2四半期から第3四半期にかけて徐々に減少したが、第4四半期には180億ドル(前四半期比64.3%増)とわずかに増加した。**

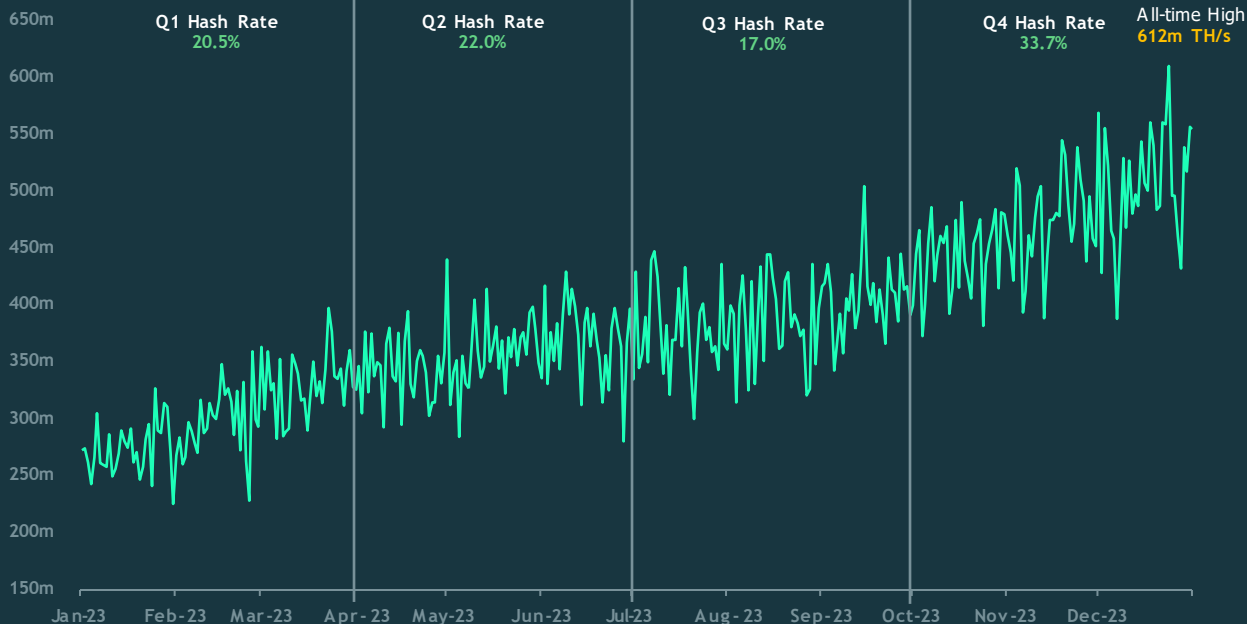
多くのBTC保有者が手持ちのコインにしがみつき続けたため、第4四半期の取引量は、市場での供給が制限されたことによる大幅な価格高騰にもかかわらず、比較的低水準にとどまった。

## 2023年 Bitcoinのハッシュレート

Bitcoinのハッシュレートが史上最高値を更新し続け、2023年には105%成長、マイニング株が大きなリターンを記録した。

Bitcoinの総ハッシュレート(2023年)

ハッシュレート TH/s



# +104.9%

2023年  
Bitcoinのハッシュレート上昇率

**ビットコインのハッシュレートが史上最高値を更新し続け、2023年には2倍以上の成長を遂げた。**最新のATHは12月24日に6.12億TH/sを記録した。最後にハッシュレートが低下した四半期は、2022年第2四半期である。

2023年第4四半期には、**マイニング企業による新たな拡張の波が押し寄せた**：

Marathon Digitalは、テキサス州とネブラスカ州のBitcoinの採掘場2カ所を新たに1.786億ドルで買収することで合意

- Bit Originは、ワイオミング州に新しい採掘施設を建設するため674万ドルの投資資金を確保
- Riot、Cipher、そしてHiveはそれぞれ6.6万ドル、3.7万ドル、7,000ドルのASICを購入。

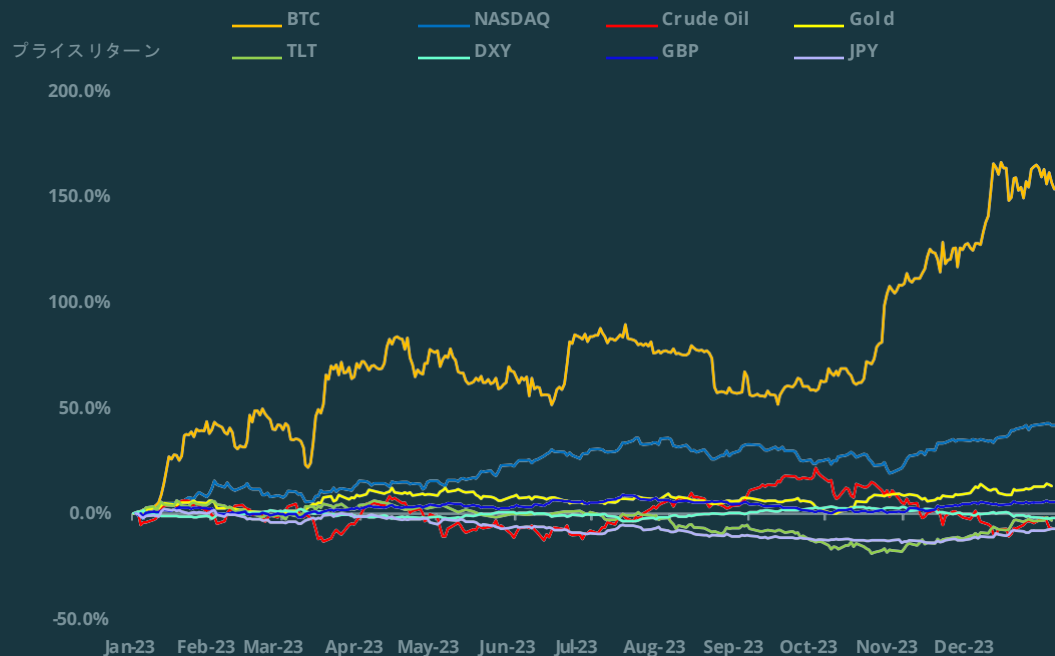
**上場マイニング株**であるCipher Mining (CIFR)、Marathon Digital (MARA)、Clean Spark (CLSK)、Riot Platforms (RIOT)も、**2023年にそれぞれ615%、556%、425%、343%という大きなリターンを記録した。**



## 2023年 Bitcoinと主要な資産クラスのプライスリターン比較

金利が上昇した環境にもかかわらず、Bitcoinは155%もの利益の上昇を記録、他の主要資産クラスを上回った一方でNASDAQ(+42%)とS&P500(+24%)も2023年に力強いリターンを記録した。

Bitcoinと主要な資産クラス (2023年)



	2023 FY Return	2023 Q4 Return
BTC	155%	57%
S&P 500	24%	11%
NASDAQ	42%	14%
CRUDE OIL	-11%	-21%
GOLD	13%	11%
TLT (Treasury Bonds)	-3%	13%
DXY (US Dollar Index)	-2%	-5%
GBP	5%	4%
JPY	-7%	6%
CNY	-3%	3%
EUR	3%	4%
SGD	2%	4%

BTCは64%下落し、最もパフォーマンスの悪い資産となった2022年とは対照的に、**2023年には155%上昇し、他のすべての資産クラスを大きく上回った。**

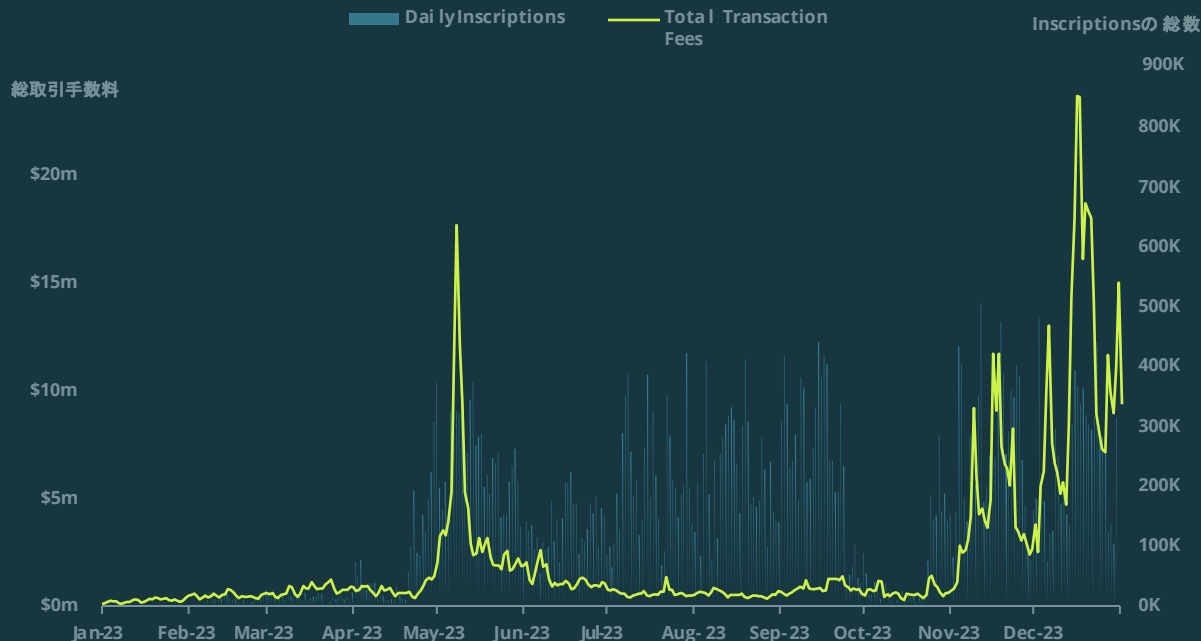
**NASDAQ(+42%)とS&P500(+24%)**もまた、2022年1月以来の高水準で2023年を終えた。**金(+13%)**も比較的大きな上昇を記録した。

**原油(-11%)**、OPEC域外生産による供給過剰の懸念から、**2020年(以来)で初となる前年比下落を記録したが**、同時に中東で続く地政学的混乱から供給が途絶える可能性もある。

## 2023年 Inscriptions(インスクリプション)

2023年1月にOrdinalsによって導入されたInscriptionsは、BTC上でNFTとMemecoinsの熱狂を引き起こし、取引手数料を急上昇させることでマイナーに恩恵をもたらした。

Bitcoinの総取引手数料と1日当たりのInscription数(2023年)



# 23.7M

2023年12月17日にBitcoinマイナーに  
支払われた  
1日当たりの取引手数料の最高額

Inscriptionとは、Bitcoinの最小単位であるSatoshiに書き込まれる任意のデータ(テキストや画像など)のこと。1月21日に開発者のCasey Rodarmor氏によってローンチされたOrdinalsプロトコルによって初めて導入され、Bitcoinネットワーク上でNFTと半代替性トークン(特にBRC-20トークン)の作成を可能にした。**2023年末までに、Bitcoinの累積inscription数は5,280万に達した。**

**Bitcoinネットワーク上でのinscriptionのミントによる最も直近の高騰は2023年12月17日に1日当たりの総取引手数料を史上最高額の2,370万ドルにまで押し上げた**

5月中旬の急騰後、9月下旬まで1日当たりのInscription数は増加し続けたにもかかわらず、マイナーに支払われた取引手数料の総額は実際にはかなり低かった。これは、この期間中のInscriptionの二次取引活動が少なかつたためと考えられ、**Inscriptionの取引活動が通貨のミントよりも手数料の原動力となっていることを示している。**

11月にInscription取引が再開されると、取引手数料の総額もそれに追隨した。

# ETHEREUMの分析

## 2023年 Ethereumの価格と取引量の比較

ETHの価格は2023年第4四半期に+36.4%上昇し、+90.5%の上昇で2023年を終えた。

Ethereum価格と現物取引高(2023年)



# +90.5%

2023年ETH価格の変動率

ETHは2,294ドルという価格を終値として2023年を終え、1年間を通して90.5%の上昇を記録した。

2023年、ETHは第1四半期を上昇傾向で迎えたが、第2四半期と第3四半期の大部分はほぼ横ばい推移となった。第4四半期、ETHは11月初めの上昇で横ばい傾向を抜け出し、12月に**年初以来最高値の2,376ドル**を記録した。

第4四半期の取引高は大幅に増加し、1日平均144億ドルと、第3四半期の72億ドルから大きく増加した。

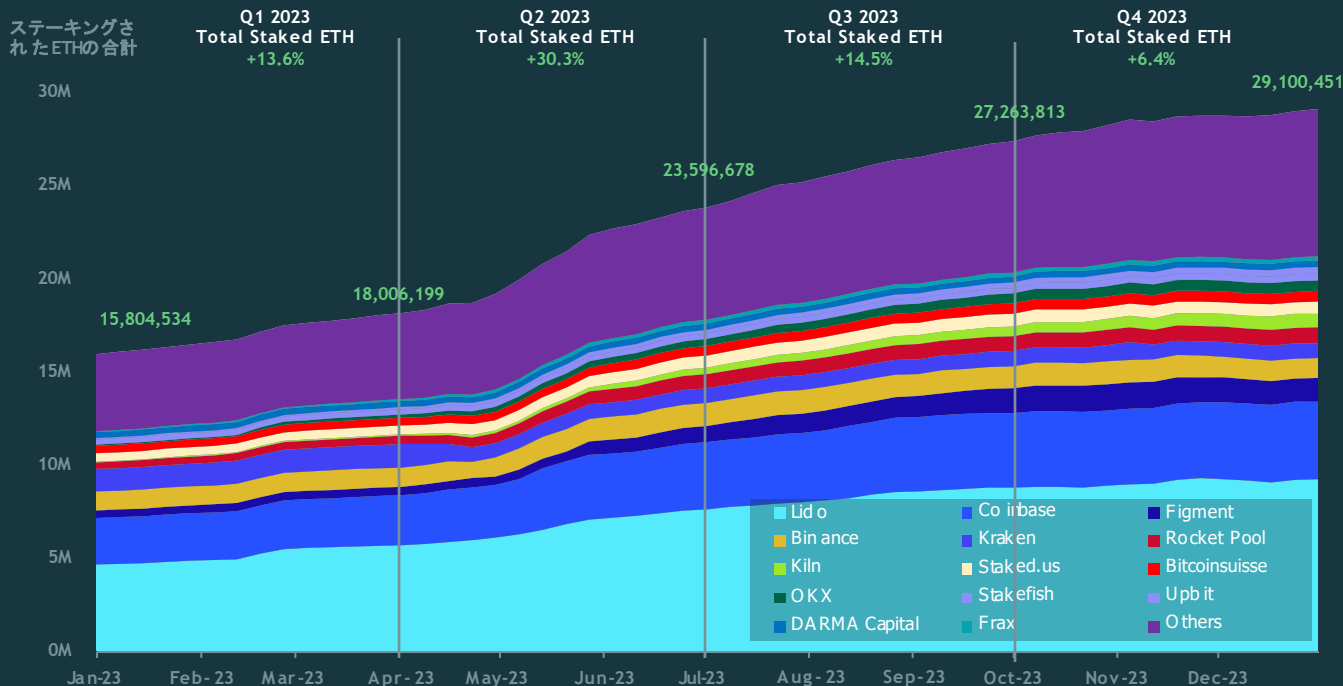
BTCのETFがSECに承認されたことで、投資家らの注目はスポット型ETFが承認待ちのETHに移っていくかもしれない。

また、Ethereumには2024年前半に予定されている、**EIP-4844**を実装するDencunアップグレードがある。Proto-Dankshardingとして知られてる通り、ガス料金の削減とネットワーク効率の向上が期待されている。

## 2023年 Ethereumのコンセンサスレイヤーにおけるステーキング

ETHのステーキングは2023年第4四半期に+6.4%増加し、2910万ドルに達したが、経営破綻したセルシウス財団が保有していたETH株のステーキングを解除し始めたため、2023年内で最も成長率の低い四半期となった。

バリデーターでステーキングされたETHの合計(2023年)



ステーキングされたETHの総額は2023年末までに2,910万ETHに達した。2023年にステーキングされたETHは82.5%増加した。しかし、第4四半期の伸びは+6.4%(170万ETHの追加)に鈍化し、これは2023年のQoQで最も低い成長率であった。

Lidoのドミナンスは-30%程度が期待できると考えられ、2023年開始以来~30%付近で推移し続けている

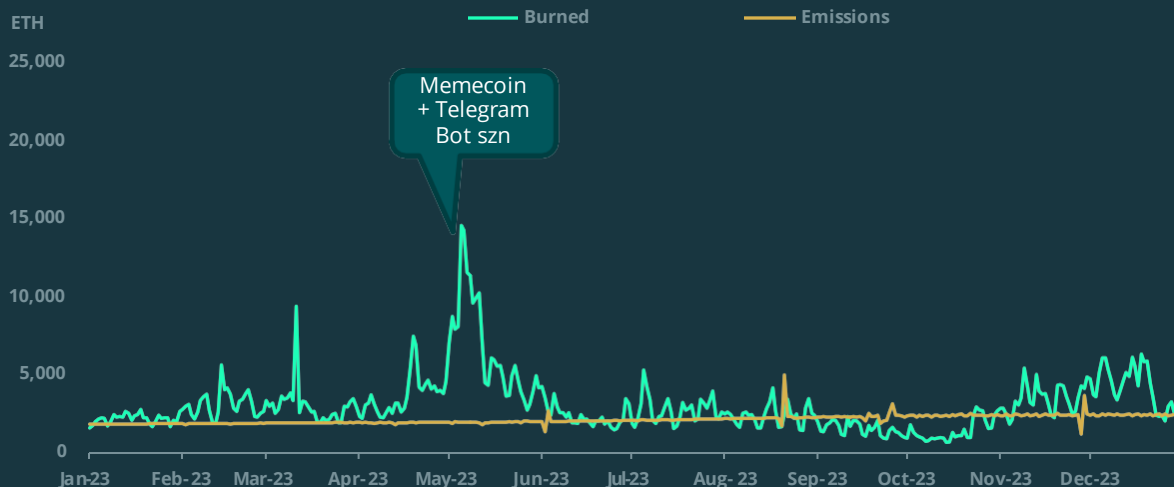
ETHのShapellaアップグレードは4月に完了し、これまでのところ入金が出金をはるかに上回っている。

しかし、Celsius財団が破産に伴いETHの保有を解除し始めており、その結果、ステーキングされたETHが減少する可能性がある。

## 2023年 Ethereumのバーンレート

ETHが初のデフレを記録、109万ETHがバーンされ、Ethereum Networkは34万2000ETHを流通から排除した。

ETHのバーンレートと放出率の比較(2023)



# 1.09M

2023年にバーンされたETHの枚数

2023年には**109万ETHがバーンされ、0.75万ETHが排出された**。これは月平均9.1万ETHがバーンされていた計算になる。2022年には月平均12.3万ETHがバーンされていた。**2023年には合計で342K ETHが流通から外された**。

ETHは第3四半期にインフレ傾向にあったが、2023年第4四半期は再びデフレとなった。第4四半期には27万ETHが消費され、21.6万ETHが排出され、ネットバーンは5.6万ETHとなった。

第4四半期に最も多くのETHが消費された日は12月18日で、**6303ETHが消費された**。

Uniswapは2023年にETH主にバーンした主体であり、**15.5万ETHを消費した**。第2四半期では、Memecoin sznがこのバーンに貢献した。

2021年や2022年はNFTマーケットプレイスのOpenSeaがバーンリーダーボードを独占していたが、それ以降はNFTの衰退とともに落ち込んでいる。

### Top 6 Burn Leaderboard of 2023



1  
**Uniswap**  
155k ETH



2  
**ETH Transfers**  
67k ETH



3  
**USDT**  
48k ETH



4  
**Arbitrum**  
25k ETH



5  
**Metamask**  
21k ETH



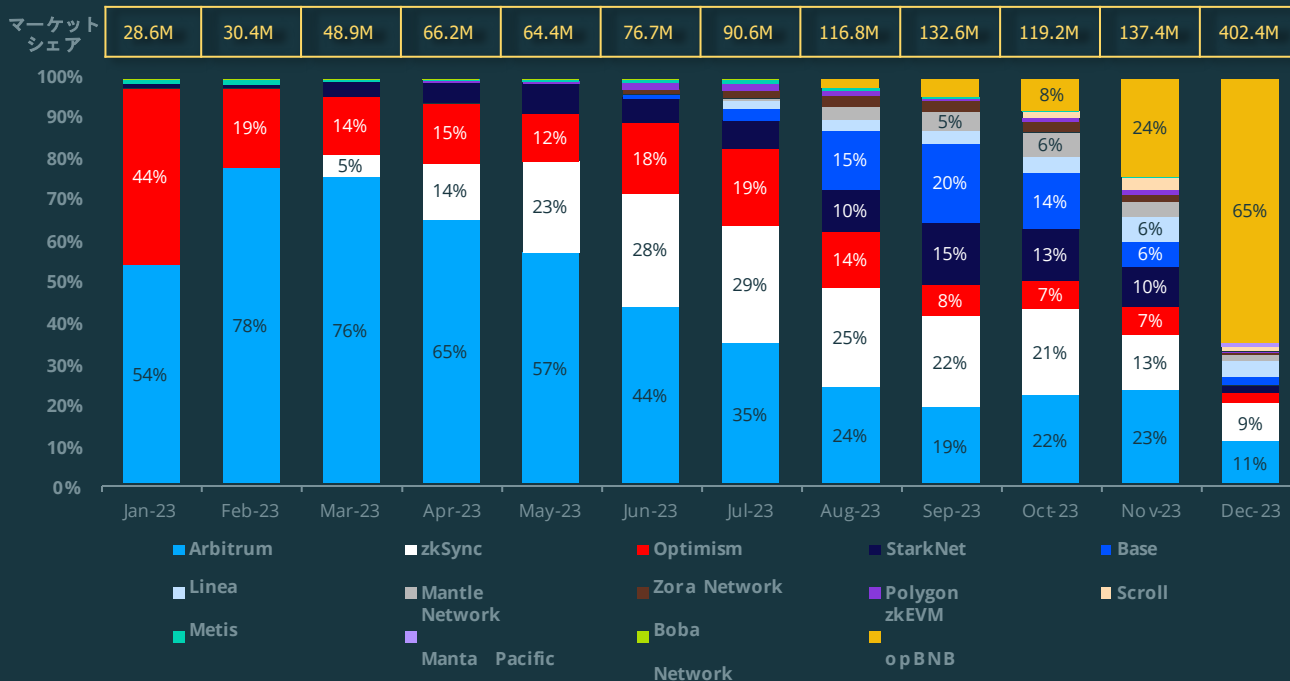
6  
**zkSync**  
18k ETH

## 2023年レイヤー2の採用

レイヤー2ネットワークでは2023年に13.1億件以上の取引が実行された。ArbitrumはEthereumのレイヤー2の全取引の3分の1以上を実行し、メインネットとほぼ同量の取引を実行した。

レイヤー2における総取引量(2023)

Total Trading Volume (\$ Million)



**1.31B**  
2023年  
レイヤー2における合計取引量

2023年には**13.1億件以上のレイヤー2(L2)取引**が行われた。3.75億件がArbitrum上で実行され、**全L2取引量の28.6%**を占めた。opBNBを除くと、Arbitrumは2023年のレイヤー2におけるEthereumの合計取引量の3分の1以上(37.5%)を占めた。

2023年のEthereumのメインネットにおける合計取引量は3.83億であり、Arbitrumはメインネットと**ほぼ同量の取引**を実行したこととなった

L2における取引量は**前四半期比93.8%増加**し、第3四半期の3.4億件に対し、第4四半期は6.59億件となった。

この大幅な増加は、第4四半期に**3.04億件(47.6%)**と最も多くの取引を行ったopBNBに起因する。これらの取引の大半はInscriptionの急増によるものであった。12月だけでも、同ネットワーク上では、2,000万件以上の取引を記録した日が数日あった。

Source: [Etherscan](#), [Blockscout](#)

# SOLANAの分析



## 2023年 Solanaの価格と取引量の比較

Solanaは灰の中から復活を果たし、第4四半期に374%の価格上昇を記録、101.33ドルの価格と10倍の利益率で2023年を終えた。

Solanaの価格と現物取引高(2023年)



# +917.3%

2023年 SOLの価格変動率

**SOLは2023年に10.0ドルから101.33ドルに上昇し、917.3%の伸びを示した。**

SOLの価格は1月に最初の上昇を見せ、2倍を超える上昇を見せた後、10月中旬まで低迷した。その後、積極的な上昇を見せ121.45ドルまで上昇したが、年末にある程度調整された。

第1四半期の1日平均取引高は8.27億2ドル、第2四半期と第3四半期は4億ドル前後まで落ち込んだが、第4四半期には20億ドル(前四半期比379%増)まで急増した。

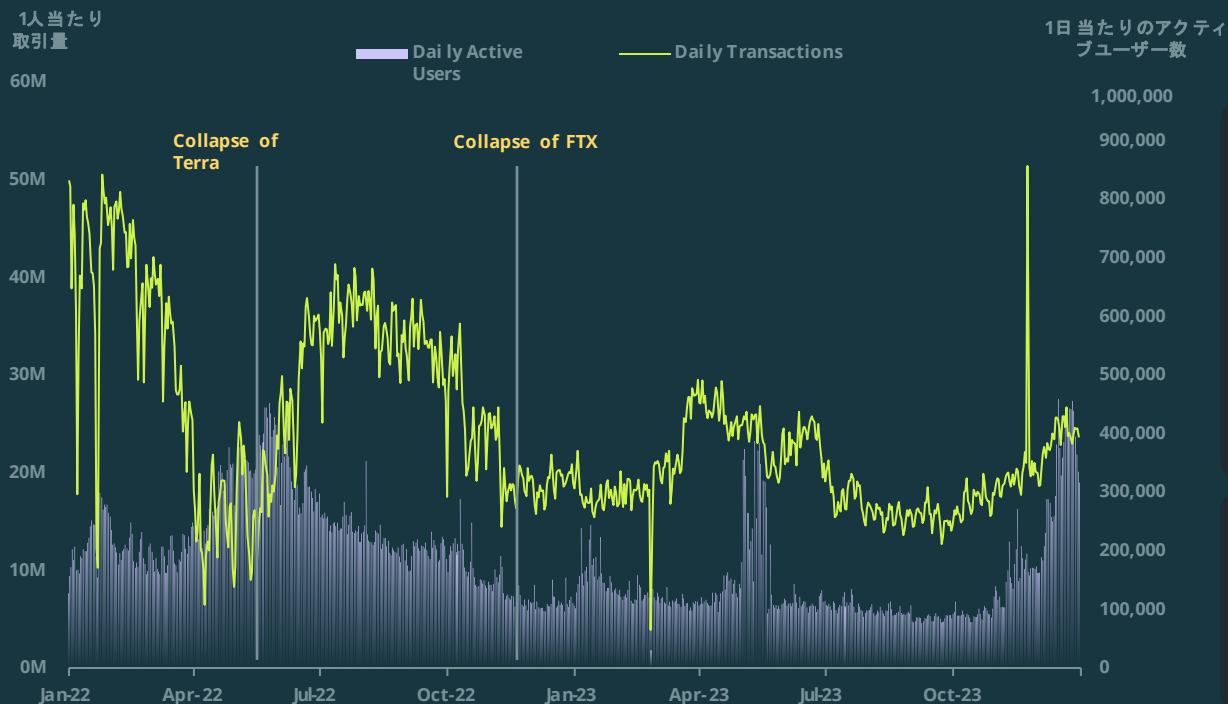
Solanaは、FTX崩壊後の驚異的な復活と回復力、Solanaエコシステム上での人気ミームコインの拡散に代表される、OPOS("Only Possible on Solana")と呼ばれるナラティブの中で急上昇を成し遂げた。

Solanaのネットワークも何度か技術的なアップグレードが行われ、2023年2月以来、大規模な取引障害が起きていない。

## 2023年 Solanaオンチェーン上での各指標の成長

波乱の2022年から立ち直ったSolanaネットワークは、2023年に1日平均取引額が563%増加し、ユーザーアクティビティの指標内で過去最高を記録した。

Solanaの1日当たりの取引量と1日当たりのアクティブユーザー数(2022 - 2023)



# 87.1M

2023年の1日当たりの  
最高取引数

SOLの価格は2021年に史上最高値の260ドルまで上昇した後、2022年中は急落を続けたが、1日あたりのユーザー数はSolanaNFTのシーズンと重なったこともあり、2022年前半は上昇し続け、2022年5月には45.3万人とピークに達した。Terraの崩壊が発生した直後から、1日の利用者数は右肩下がりになった一方で、1日の取引量は2023年5月の~2000万件から2023年7月には~4,000万件に増加した。

2022年末には、FTXの破綻により、Solanaのアクティブユーザー数は5月のピークから**76.7%減少**し、2022年12月末には10.6万人となった。

Heliumの移行とMastercardとの提携により、Solanaネットワークは2023年上半期に若干の復活を遂げ、**1日当たりの取引量は3月末の2,000万件から1週間後には2,800万件へと40%も急増**した。第4四半期のSOLの高騰を受け、ユーザーはエコシステムに戻り、2023年12月には45.6万とユーザー数のピークを記録した。

## 2023年 Solanaのハイライト

Solanaの復活は、Airdropとミームコインの強力な組み合わせに加えて、その非常に速いパフォーマンス、安価な手数料、優れたUIのdAppsに起因している。

### #OPOS (Only Possible on Solana)



Solanaの当初の約束は、ユーザーにとって**非常に安いコストで驚異的なパフォーマンスを発揮すること**だった。最初のSolana dAppsのいくつか(特にSerum)は、2020年当時でさえ、このチェーンが如何に有能であるかを誇示していたが、このチェーンは常に取引障害に悩まされていた。

弱気相場が続く中、2023年初めにSolanaチェーンに導入されたアップグレードにより、2023年2月以降は取引障害は報告されておらず、**チェーンは大幅に安定している**。

2023年初頭、コミュニティは#OPOSを合言葉に結集し始め、Solanaの優れたパフォーマンスと安価な手数料の組み合わせを真に**活用し、披露**した。

その結果、micropayment、DeFi、DePIN、マスNFTのミント、ゲームなどのユースケースが取り上げられるようになり、#OPOSはSolanaプロジェクト復活の産声となった。

### Great UI and Easy-to-Use dApps



Solanaの過小評価されている利点は、他の新しいチェーンと比較して、**オンランプと利用がいかに簡単であるか**ということだ。SOLはすでに中央集権的な取引所に広く上場、サポートされており、PhantomやBackpackのような素晴らしいUXを誇るウォレットを保持している

モノリシック・チェーンであるため、**ユーザーは異なるロールアップ間のブリッジにかかる労力とコストを節約できる**。その結果、流動性の分断が生じず、ブリッジを信頼しなければならないことから生じる複雑さとリスクを最小限に抑えることができる。しかし、ブリッジを行う必要がある場合、Portal / Wormholeは十分以上のソリューションを提供している。

また、Solana dAppsは**UIが素晴らしく、非常に使いやすい**。高速なパフォーマンスと安価な手数料により、チェーンやdAppsとのやり取りはほとんどシームレスな体験となる。

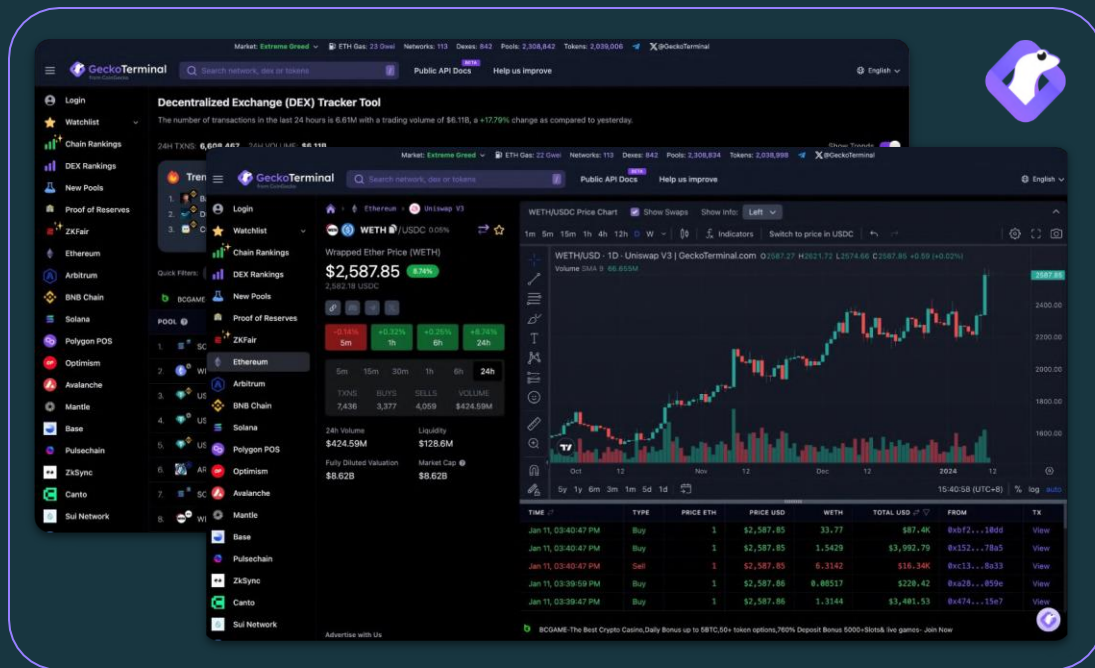
### Airdrops, Memecoins and NFTs



エアドロップは通常、ブリッジとその後の利用を奨励しようとしているより新しいチェーンで発生する。しかし、最近のSolanaのエアドロップは、すでにエコシステムの主役であったプロジェクトからもたらされている。これらのエアドロップは、**エコシステムの暗黒期を乗り越えてきたユーザーへの惜しみない報酬である**。また、エアドロップファーマーが次のエアドロップを狙うためにSolanaチェーンに降り立つ結果にもなった。

もう一つの確かな関心指標はミームコインで、Solanaもこれには事欠かない。BONKは2022年12月にローンチされた時点で、かなりの反響を起こしたが、2023年末までに真に新たな高みに到達した。Solanaのプロジェクト/トークンは、AI、DePIN、RWAIといった2023年に**トレンドとなったナラティブのすべてに登場**しており、投資に夢中になっている人々を心ゆくまで楽しませた。SolanaNFTの価格と出来高の復活は、投機筋がリスクカブの外側に移動するにつれて、退行していく可能性が高まっていることを示唆している。

各種DEXとリアルタイムの暗号資産価格を表示できる。



以下の市場データを取得できる:

**113**  
ブロックチェーン


**840+**  
DEX


**2M+**  
トークン

**2.3M+**  
プール

Geckoterminalを使用して、分散型取引所 (DEX) と DeFi 分野で次の大きな投資機会を発見できる。

新着情報:

 Googleログインが利用可能になりました！ウォッチリストを同期し、外出先からトークンを追跡できます。[Guide]

 ビルダーですか？Geckoterminalの **Public API** (新しいエンドポイント) で市場データを調査してください。

 新しいリスティング: **ION Network** で追跡しましょう！

 新しいページ: 我々に関してさらに知りたい方はこちら[[about us](#)]

Geckoterminal で最新情報を入手してください

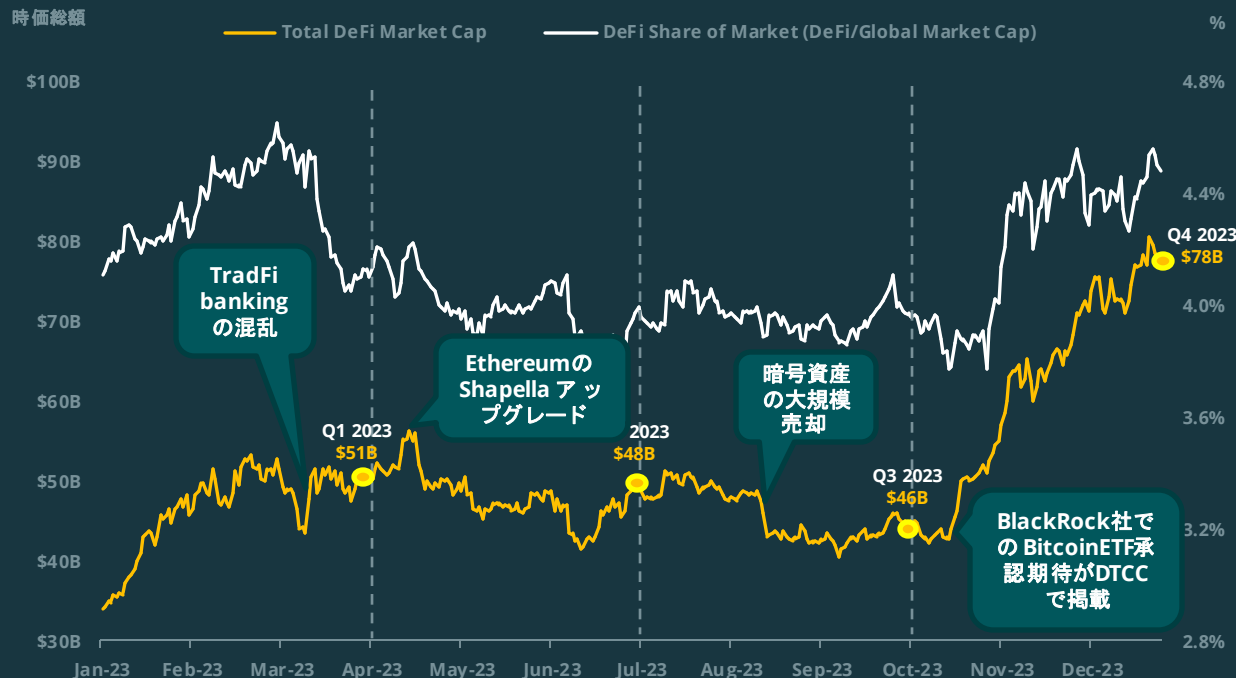


# DeFiの分析

## 2023年 DeFiの概観

DeFiの時価総額は、2023年第1四半期に初めて上昇した後、最初の第3四半期は概ね500億ドル前後で推移していた。しかし、第4四半期には市場センチメントが強気に転じたため、同部門は大幅に上昇した。

DeFiの総市場規模および市場全体に占めるDeFiのシェア (2023年)



# +128.8%

2023年DeFi時価総額の上昇率

2023年1月1日の時価総額が340億ドルだが、1年間で**440億ドルの上乗せがあった。**

DeFiの時価総額は暗号市場全体の時価総額を上回り、109.9%増に対し128.8%増の結果となった。

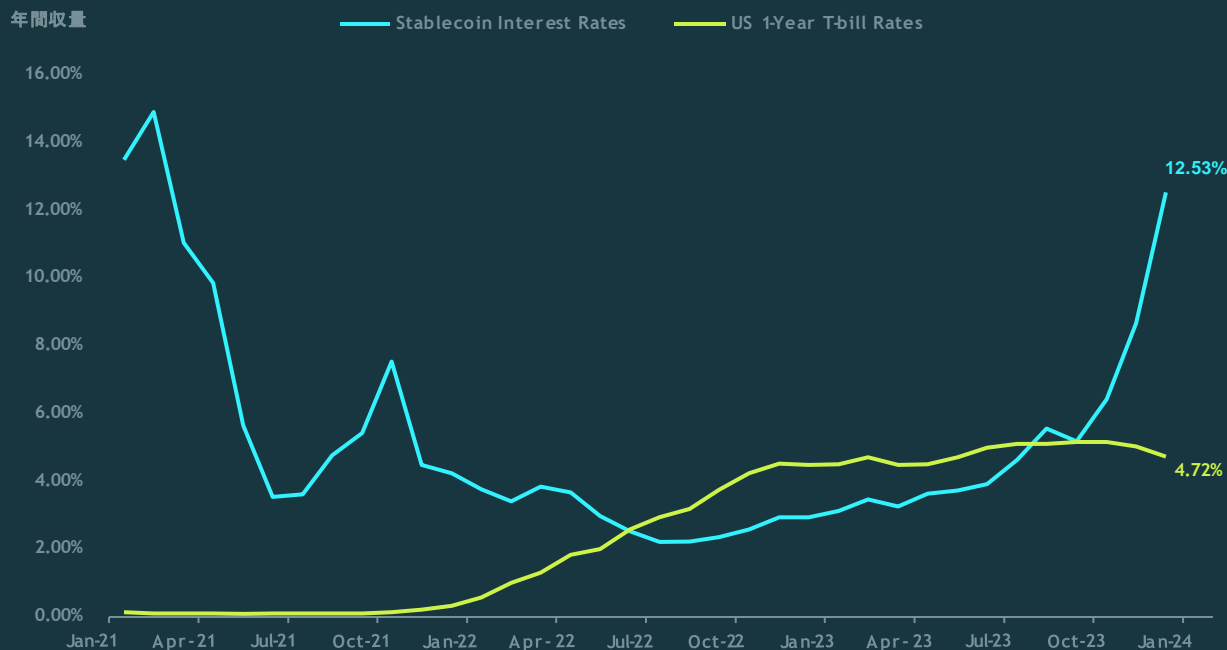
8月の売り越しにも関わらず、DeFiの時価総額は**400億ドルから500億ドルの間で推移していた。**しかし、BitcoinETFが承認される可能性が出てきたことにより、DeFiの時価総額は市場全体とともに第4四半期に年初来高値を更新し、**第3四半期末の460億ドルから2023年末には780億ドルに急増した。**

DeFiの市場占有率は第2四半期と第3四半期には4%を下回っていたが、第4四半期の時価総額の上昇により、**4.5%に拡大した。**

## 2023年 DeFiとTradFiの金利比較

DeFiのステーブルコインの金利は、レバレッジへの意欲が再び戻ってくるにつれて、2021年の金利レベルまで急上昇した。

ステーブルコイン金利VS米国1年物T-bill金利 (2023年)



# +7.81%

2024年1月1日のステーブルコイン  
と米国1年物T-billの金利差

DeFiの利回りは2021年1月の13.49%から2021年12月の4.21%へと急落したが、**T-bill金利は依然としてゼロに近かった。**

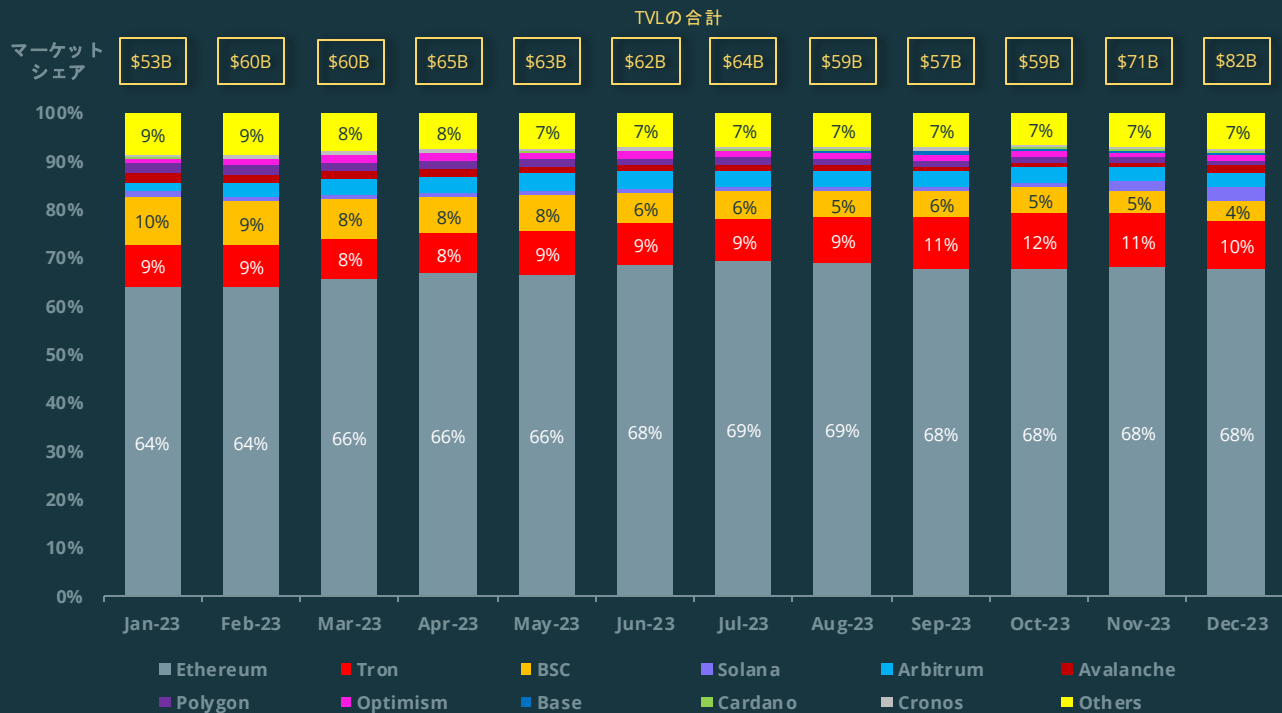
FRBはインフレ対策として2022年を通じて利上げを開始したが、その一方で暗号市場は大暴落し、レバレッジ需要が枯渇した。このため、**T-bill金利はDeFiの借入金利よりも高くなった。**2022年末までに、T-billの利回りは4.72%であったのに対し、ステーブルコインの貸し出しによる利回りは2.89%であった。

DeFiの利回りは2023年上半期を通じて着実に上昇したが、今年最終四半期には**米国のBitcoinETFのスポット承認への思惑が高まり**、リスク選好とレバレッジ需要が大幅に高まった。ステーブルコインの借入金利は、2023年第3四半期の5.15%から12.53%へと**2倍以上に上昇した。**

## 2023年 DeFiマルチチェーンのマーケットシェア

Ethereumが依然としてDeFiTVLの68%のシェア占めている一方で、Tronは2023年のTVLでBNBスマートチェーンを上回り、2位のチェーンとなった。

マルチチェーンTotal Value Locked (TVL)の内訳



**+55.6%**  
DeFi TVLの上昇率(2023年)

DeFiのマルチチェーンTVLは2023年第3四半期まで変動が見られたが、**2023年第4四半期には250億ドルの流入**があり、年末までにTVLは全体で55.6%上昇した。Ethereumはその競合優位性を固め続け、マーケットシェアは2023年1月の64%から68%に拡大した。

2023年に入り、TronはBNBスマートチェーンを大きく引き離し、**マーケットシェア10%を占めている**。年初来、TronのTVLはstUSDTの開始により**74.8%の急激な上昇**を見せたが、BNBスマートチェーンのTVLは2023年末までに**31%減少**した。

Solanaエコシステムは2023年に大きな復活を遂げ、**TVLは2023年1月の4.47億ドルから2023年12月には24億ドルへと441.1%上昇**した。ネットワークトークン(SOL)の価格上昇と将来のエアドロップの示唆により多くのユーザーの購買意欲上昇に至った。

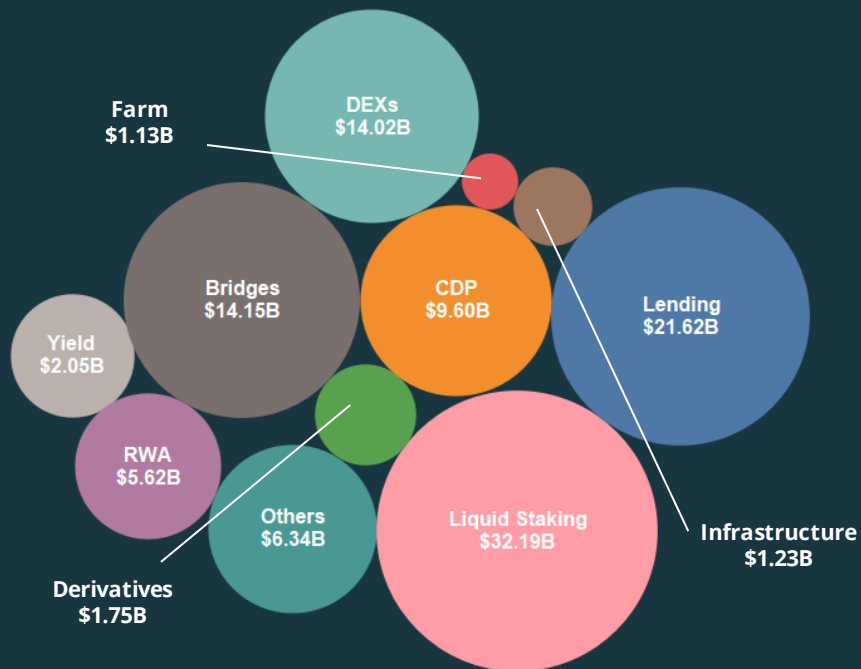
Source: [Defillama](https://defillama.com)  
\*Monthly TVL is calculated by taking the average TVL on daily basis for each month.  
\*\* RWAs and redeposits are not included in multi-chain TVL



## 2023年 DeFiエコシステムの概要

リキッドステーキングは第4四半期にDeFiプロトコルのトップの座を固め、レンディングとブリッジングプロトコルもTVLに占めるシェアを大きく伸ばした。

各DeFiカテゴリーのTVL (2023年第4四半期)



TVL Share	Segment	QoQ % Change
	<b>Overall TVL</b>	46.8%
▲ 29.3%	Liquid Staking	61.3%
▲ 19.7%	Lending	53.2%
▲ 12.9%	Bridges	60.5%
▼ 12.8%	DEXs	21.1%
▼ 8.8%	CDP	20.8%
▲ 5.8%	Others	58.1%
▼ 5.1%	RWA	0.9%
▲ 1.9%	Yield	67.4%
▼ 1.6%	Derivatives	38.4%
▲ 1.1%	Infrastructure	431.8%
▲ 1.0%	Farm	7476.6%

EthereumのShapellaアップグレードが完了したにもかかわらず、**リキッドステーキング**は2023年を通して驚異的な成長を続け、2023年第4四半期のTVLは200億ドルから32.2億ドルへと**61.3%上昇**した。













リアルワールドアセット(RWA)のTVL増加率は0.9%と小さく、**2023年第3四半期の7.4%**から**2023年第4四半期の5.1%に低下**した。しかし、同セクターの2023年のTVL総額は**7.6億ドルから60%増加**し、**2023年末には56.2億ドル**となった。

DeFiセクター全体のわずか1%に過ぎないにもかかわらず、イーロードファーミングのTVLは**74倍以上に上昇**しており、市場環境の改善を踏まえて、保有資産の**リターンを生み出す意欲を取り戻した**クリプトユーザーの回帰を浮き彫りにしている。

## 2023年クロスチェーンブリッジの流動性

TVLが211%増加したSolanaを筆頭に、ほとんどのクロスチェーンプラットフォームで流動性が回復した。

流動性の高いブリッジ上位12 (2024年1月1日)

ブリッジ	2023年 Q4	2023年 Q3	前四半期比
WBTC 	\$6.7B	\$4.4B	▲ 52.8%
JustCryptos 	\$4.8B	\$3.1B	▲ 55.1%
Portal 	\$1.0B	\$322M	▲ 211.0%
hBTC 	\$425M	\$242M	▲ 75.7%
Stargate 	\$330M	\$389M	▼ 15.3%
Multichain 	\$177M	\$115M	▲ 54.0%
Axelar 	\$168M	\$96M	▲ 75.5%
Synapse 	\$114M	\$110M	▲ 3.3%
Across 	\$104M	\$56M	▲ 85.2%
Celer cBridge 	\$98M	\$88M	▲ 11.7%
Poly Network 	\$97M	\$85M	▲ 13.6%
Hop Protocol 	\$60M	\$59M	▲ 1.0%

\$14.0B

(+74.4%)

2024年1月1日の  
クロスチェーンブリッジの流動性総額

2023年第3四半期の44億ドルから2023年第4四半期の67億ドルへと再び目覚ましい伸びを示したが、その多くはBitcoinの価格上昇によるものであり、その価格は過去四半期で56.5%の上昇を見せた。この上昇はブリッジはまだ資産の面でわずかな流出を見たことを示している。これは、**Inscriptions**ベースのトークンが流動性の一部をBitcoinネットワークに移したことによるものと推察される。

Solanaエコシステムの復活はポータルブリッジを通じた大量の流入をもたらし、**2023年9月のTVLが3.2億ドルから2023年末には10億ドルに211%増加**し、トップ3に躍り出た。

その一方で、Stargateは過去四半期に**15.3%のTVLを失った**。理由としてはLayerZeroの\$ZROの販売をめぐる不確実性と、資本を展開するための盛況な市場環境が、より良いファームへのエアドロップファーミングを追いやっている可能性があるためだ。

2023年第4四半期に**L2sとCosmosエコシステムが復活**したことで、前者(Across)と後者(Axelar)に特化したブリッジに大きな資金流入があった。AxelosのL2向けブリッジングプロトコルのTVLは2023年第3四半期の5,600万ドルから2023年第4四半期の1億400万ドルへと**ほぼ倍増**となった。

2023年は値動きが停滞していた中、DeFiはスケーラビリティやUXなど根本的な品質の向上へ回帰する動きを見せた。

### 実質利回りの進化



2021年、時には数百万APYを約束したフード・イールドファームは、本来の価値を持たないガバナンストークンを過剰に排出し、長期的には持続不可能であることが証明された。そのため、多くのプロジェクトは現在、ETHやステーブルコインのような確立された暗号通貨の形で持続可能なリターンを生み出す「リアルイールド」に重きを置いている。

2022年にはGMXのような分散型永久プロトコルがリアルイールドプロトコルへの道を開いたが、その人気は2023年にはネットワークステーキングを通じてリアルリターンを生み出すLSDやLSDFiプロトコルに引き継がれた。現実世界の金利が最高値を更新した今年、リアルワールドアセット(RWA)もTradFiのリターンにアクセスする代替手段として人気を博した。RollbitのようなGambleFiプラットフォームもまた、「ハウス」としての役割を果たす流動性プロバイダーに実際の利回りを提供し、プラットフォームの収益の一部を得ていた。

### あらゆるdAppに対応するためのチェーン開発



汎用型のレイヤー1がDeFiやNFTのイノベーションの実験場となっているが、チェーンの開発者達は特化機能を持ったブロックチェーン構築しており、DeFiのさらなる普及を促進するためには、わずかなコストで大量のトランザクションを迅速に処理できることが求められている。SeiやInjectiveといったDeFiに特化したネットワークの立ち上げは、ネイティブなマッチングエンジンや分散型オーダーブックを通じて、ユーザーによりスムーズで迅速な体験を提供する。

しかし、dAppsは特定のネットワーク上に構築される必要はなく、独自のアプリチェーンとして運用することができる。dYdXがEthereumからスタンドアロンのCosmosベースのdYdXチェーンへの移行を完了したことで、より多くのプロトコルが、基盤となるL1/L2のセキュリティを活用した独自のアプリチェーンやロールアプリのデプロイに移行している。このプロセスは、Dymension, Caldera, ConduitなどのRollup-as-a-Service(RaaS)プロバイダーによってさらに簡素化されている。

### DEXの改革



2023年6月、Uniswapはプラットフォームのv4アップデートを発表し、ガス代やオンチェーン指値注文など、流動性プール内のアクションに基づいてトリガーされるカスタマイズされたアクションをユーザーが追加できる「フック」を導入し、すべてのプールが単一のスマートコントラクトの下で実行されるようになった。しかしそれだけでなく、その1ヵ月後には、より良い価格、ガスを使わないクロスチェーン取引、MEV保護を提供する、intentベースのスワッププロトコルであるUniswapXもリリースされた。

intentによって、ユーザーはトランザクションの特定のパラメータに署名し、最も効率的な方法で実行されるように解決者に委託することができる。CowSwapによって初めて普及したintentベースのアーキテクチャの復活は、2023年のトレンドトピックとなった。intentは現在、オンチェーントレードルーティングやクロスチェーンランスファー/スワップに使用されているが、Anoma, Essential, dappOSなどのプロジェクトは現在汎用的なintentベースのアーキテクチャを構築しており、そのユースケースはDEXやブリッジだけでなくとどまらず、多岐に渡っている。

# Bingx

Empowering Traders

Founded in 2018, BingX is a leading cryptocurrency exchange, **servicing over 10 million users worldwide.** BingX offers diversified products and services, including spot, derivatives, copy trading, and asset management.



TradingView's Best Crypto Exchange for 2021 & 2022



CoinGecko and CoinMarketCap Top Ranking



Global Brands Magazine 2022 Fastest Growing Social Trading Platform



**OFFICIAL CRYPTO EXCHANGE PARTNER OF CHELSEA FC**

Get started on BingX and **be rewarded up to 5000+ USDT.**

Download the BingX app

[www.bingx.com](https://www.bingx.com)

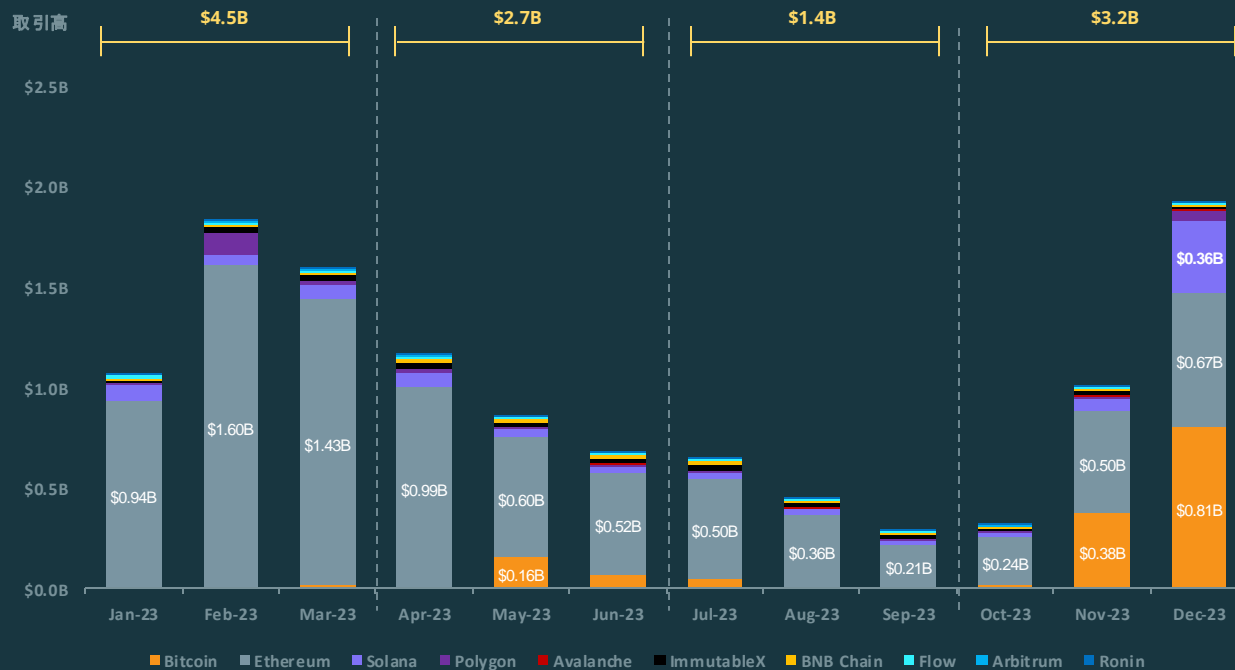


# NFTの概観

## 2023年 NFT取引量上位10チェーンの比較

NFT市場は2023年初期に活況の兆しを見せたが、第2四半期と第3四半期に急減し、第4四半期に回復した。

NFT取引量上位10チェーンの比較 (2023年)



**+79.9%**

2023年1月からの取引量の上昇率

2023年の上位10チェーンのNFT取引高は118億ドルに達した。しかし、この数字は上位8チェーンで263億ドルに達した2022年のNFT取引高の半分にも満たない。

イーサリアムベースのNFTは2023年も引き続き主要なNFTチェーンであり、取引量の72.3%を占めている。しかし、2022年に90%以上を占めていたことと比較すると、Bitcoinとソラナにシェアを奪われたことが明確にわかる。

12月のNFT取引量はBitcoinがイーサリアムを上回り、約8億ドルとなった。これは今年初めにオーディナルが導入され、11月に人気が再燃したことに起因すると考えられる。

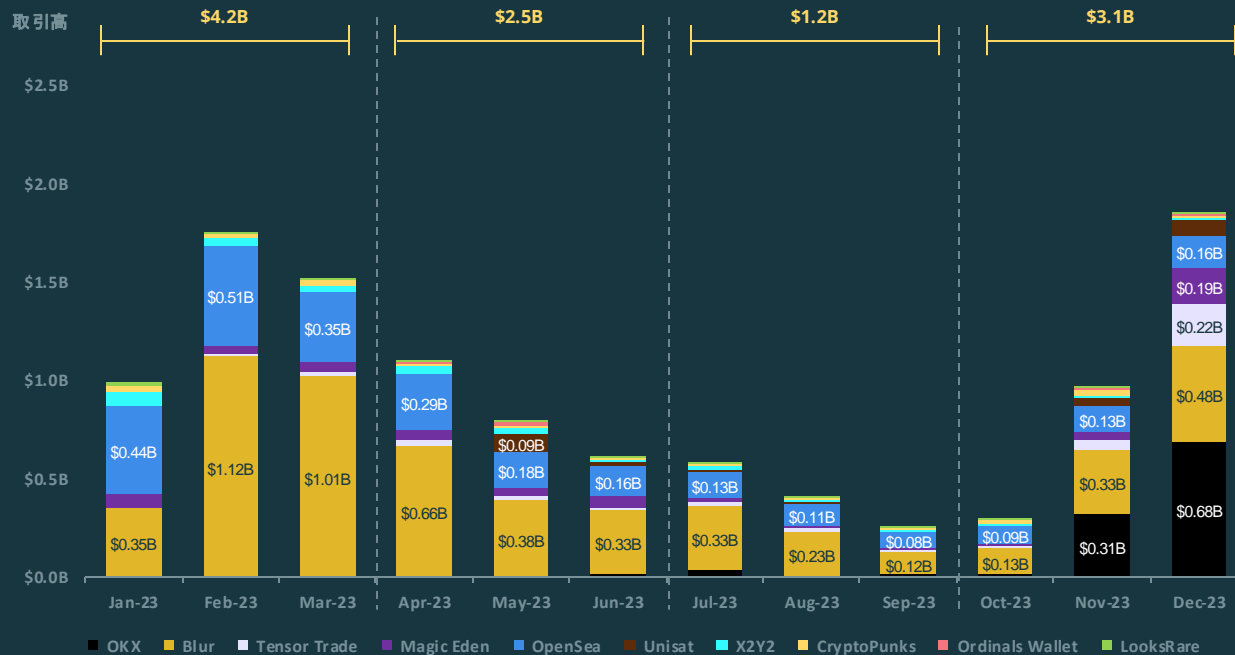
Solanaは2023年に完全な復活を遂げ、取引高は2023年1月の7300万ドルから12月の3.6億ドルへと4倍に増加した。Mad LadsとTensoriansが最も人気のあるコレクションであった。

Source: [Dune Analytics \(@hildobhy, @domo @ilemi\) & Cryptoslam](#)  
 \*Wash trading filters are applied for Ethereum, Polygon, Arbitrum  
 \*\*Cardano has been excluded due to irregular trading behaviour

## 2023年 NFTプラットフォームの取引高比較

2023年の大半はBlurが支配的であったが、Bitcoin Ordinalsの導入とSolanaの台頭により、多くの新しいNFTマーケットプレイスがシェアを獲得している。

NFTマーケットプレイス上位10社(2023年1月~12月)



2023年はBlurがNFTマーケットプレイスとして業界をリードしていた。2023年の合計取引高では49.6%を獲得し、第1四半期には首位であったOpenSeaを引きずり下ろした。OpenSeaがロイヤリティを強制的に徴収する姿勢を堅持していたのに対し、Blurはロイヤリティの支払いを拒否できるようにし、競合有利なエアドロップキャンペーンを開始した。しかし、2023年のイーサリアムのNFT取引量の減少に伴い、Blurも市場シェアを徐々に落としている。

OKXは主要なBitcoin Ordinalsマーケットプレイスとしての地位を確立し、12月にはすべてのNFTマーケットプレイスの中で最も多くの取引量を記録した。これは、Binanceが\$ORDIの上場を発表した後、Ordinalsを取り巻く状況が高まったことに起因していると考えられる。

Magic Eden、Unisat、Ordinals Walletは、その他の主要なOrdinalsマーケットプレイスである。

SolanaのBlurと呼ばれるTensor Tradeは、Solana NFTのカムバックを背景に、2023年12月にはNFT取引量の11.7%を獲得し、第3位のNFTマーケットプレイスの座に上り詰めた。

Source: [Dune Analytics \(@hildobby, @domo, @ilemi\)](#)

\*OpenSea volumes include Ethereum, Polygon & Arbitrum; MagicEden volumes include Solana, Bitcoin and Polygon

\*\*Trading Volume is credited to the aggregator (Blur, OpenSeaPro) if the trade was aggregated

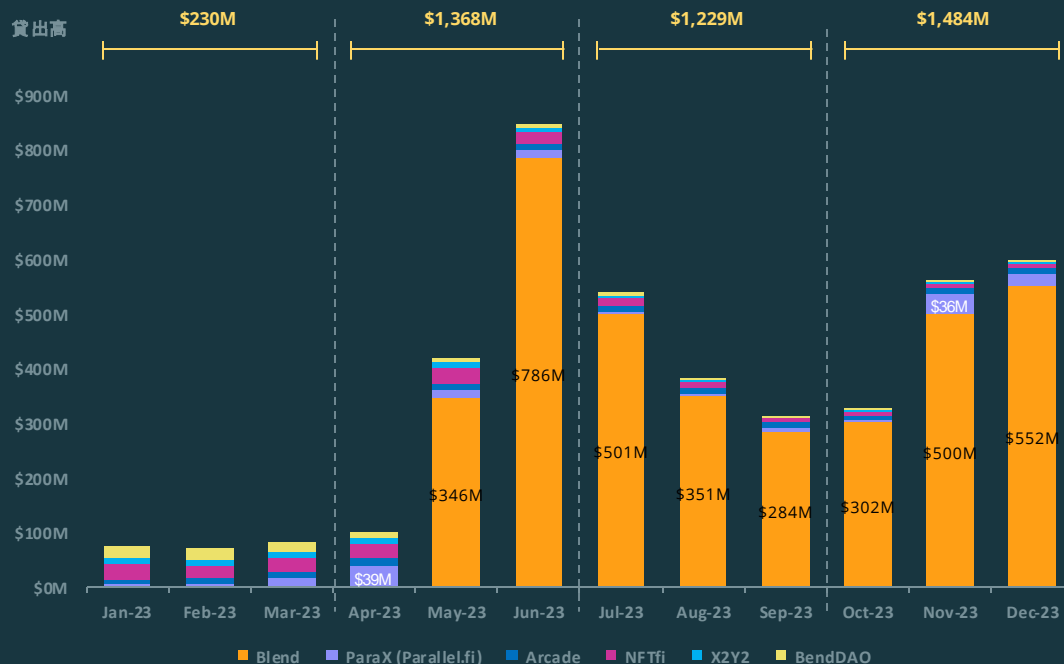
\*\*\*ImmutableX marketplaces are excluded due to difficulty in obtaining data



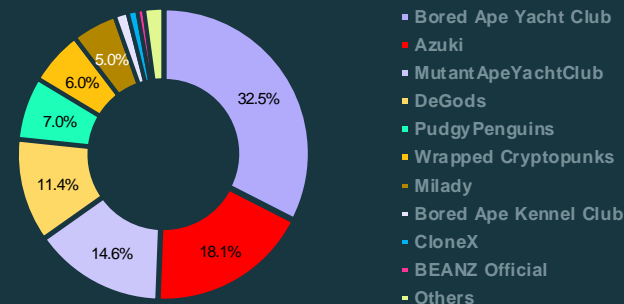
## 2023年 NFT貸出高比較

NFTの貸出しは2023年にブレンドが台頭したことで急増したが、NFT市場全体ではまだその規模は小さい。

NFTレンディングプラットフォーム貸出高上位6社(2023年1月～12月)



ブレンド貸出高(コレクション別)



NFT貸出プラットフォーム上位6社の**2023年第4四半期**の貸出高は合計**15億ドル**で、前四半期比20.8%増となった。

**ブレンド**は、2023年12月のNFT貸出高の92.3%にあたる5.52億ドルを獲得し、NFT貸出プラットフォームのトップの座を維持した。

**Bored Apes**と**Azuki**がこれまでのブレンドの**全融資額の50%を占め**、18億ドルの資金を借り入れたことになる。**Pudgy Penguins**からのローン組成は、第3四半期の8,100万ドルから第4四半期には2.52億ドルへと、**前四半期比211.2%増加**した。これは、トレーダーが価格高騰を見越してPudgy Penguinsにレバレッジをかけた賭けをしようとしているため、価格上昇の方が融資利息よりも高い可能性がある。



全体的にNFTにとって逆風となった一年だったが、クリエイターロイヤリティの撤廃や、いわゆる可「ブルーチップ」プロジェクトのサブコレクション立ち上げなど、セクター内の劇的な変化をもたらした。

### ロイヤリティ戦争 - 競争するか否か?



2023年初頭、BlurやOpenSeaがNFTの支配的なマーケットプレイスになると争ったため、「ロイヤリティ戦争」が勃発した。

2022年10月に開始されたNFTに投機でBlurは、オプションのロイヤリティを支払うことで、トレーダーがロイヤリティのピンチを感じることなく暮らすようにした。また、一時的にロイヤリティを廃止し、後に0.5%のロイヤリティモデルに移行した。

OpenSeaは、ロイヤリティを強制しないマーケットプレイスをクリエイターがブラックリストに登録できるオペレーター・フィルターレジストリを導入して対応したが、1月にBlurによって抜け穴が発見され、結局2月に屈服して任意のロイヤリティに戻すという挫折に直面した。こうした中、他の多くのNFTマーケットプレイスも、当初はクリエイターの収入を保護する姿勢を示していたが、後に任意ロイヤリティに戻した。

このため、実効ロイヤリティ率は引き続き低下傾向にあり、2023年には0%から1%となる。

### 浮き沈みの激しい1年



Pudgy Penguins Comeback - 今年初めには飛べない鳥だったPudgy Penguinsは、ルカ・ネットの新たなリーダーシップの下、物理的なおもちゃに軸足を移してスポットライトを浴びるようになった。

あずきファンブル - 2023年6月、あずきは「エレメンタルズ」と呼ばれるセカンド・コレクションをリリースした。残念なことに、この新しいコレクションはオリジナルのコレクションと非常によく似ていたため、コミュニティからの反発を招き、多くの長期保有者がプロジェクトから撤退した。

DeGodsがSolanaからEthereumへ移行 - 2023年にSolanaがカムバックしたことで、SolanaのエコシステムとNFTへの関心が復活したが、かつてのSolana上のNFTプロジェクトはこれに完全に乗り遅れた。

Mad Lads Ascend - Solana Backpackの創設者でもあるアルマーニフェランテが手掛けたこのPFPコレクションは、Solanaのエコシステムが復活を遂げる中、数多くのエアドロップやパートナーシップの恩恵を受けており、Solanaのブルーチップとしての地位を確立している。

### NFTFi



NFTには価格発見と流動性の解決の2つの主要課題が存在する。これらは当初はNFTのレンディングプロトコルから始まったが、イノベーションを続け、現在ではNFTのパーペチュアルも扱っている。

NFTレンディングは2023年5月のBlendの開始により、大きな影響を受けた。これにより、NFTレンディング市場は2023年4月の1.02億ドルから2023年5月には4.18億ドルへ309.5%の成長を見せた。急激な成長があったとはいえ、こうした活動に参加できるコレクションには大きな限界がある。

NFTPerpやNFEXなどのプロトコルが提供するNFTパーペチュアルは、DeFiトークンのパーペチュアルとコンセプトが似ており、NFTコレクションのフロア価格を追跡するパーペチュアル契約です。これにより、トレーダーは実際にNFTそのものを所有することなく、特定のNFTコレクションの価値に投機することができます。コレクション推進派は、このような契約によってNFTの価格発見につながりより良い仕事ができると主張している。

## 2023年 GameFiのハイライト

GameFiスペースは2023年も活気に満ちており、既存のプロジェクトは次世代のゲーマーをサポートするために新しいゲームやインフラを開発し続けている。

### ファーミングゲームの課題




イールドファーミングはDeFiユーザーにとってはより人気のある活動の一つとなっているが、GameFi愛好家にとっても同じことが言えるだろう。ファーミングやマイニングはゲームのブロックチェーンゲーム空間を支配し続けており、PixelsやFarmers Worldなどのゲームは合わせて**1日 17.5万人以上のアクティブユーザー**を記録している。

ゲーム化されたイールドファーミングのようなもので、ファーミングやマイニングゲームではプレイヤーはNFTを使用して特定の期間ファーミング、マイニングを行うことができる。プレイヤーは資源を効率的に使用して、採掘量とトークン報酬を増やす必要がある。

しかし、ファーミングゲームは非常にシンプルで、実際の人間のプレイヤーからのインプットがほとんど必要ないため、**ボットが繁栄する環境を作り出している**。ユーザーは何千ものボットを作成しコントロールすることができるため、実際のプレイヤーにとってのトークン報酬が希薄になり、新規プレイヤーがゲームに参入する意欲をなくす可能性がある。そのため、このジャンルの開発者達によるボット行為の抑止が期待される。

### ゲーミングチェーン&ガスレスチェーン



前回のPlayto Earnの波の終わりには、RonninはAxie Infinityのホームである新たなネットワークとなっていた。RonninにはZoids Wild ArenaやPixelsなどのタイトルが移行し、ゲームのより強固なエコシステムに成長している。Ronninネットワークの復活により、RONの価格は2023年初頭の0.26ドルから7倍に成長し、2023年末には1.85ドルとなった。

**ブロックチェーンゲームに特化したネットワーク**の人気の高まる中、Merit CircleやAncient8などのDAOも独自のゲームチェーン、BeamとAncient8 Chainを立ち上げた。Ancient8チェーンはまだテストネット上にあるが、Beamは現在サブネットとしてAvalanche上に存在している。

これらのゲーミングチェーンは取引を行うためにネイティブトークンやETHを必要とするが、2023年はSkaleやWaxのようなガスレスブロックチェーンが多くのクリプトゲーマーを魅了し続けた。ゲーマーはこれら2つのブロックチェーンの全ユーザーの88%を占め、それぞれのネットワークに10万人以上存在プレイヤーとして存在する。

### テスト版オープン




2021年のGameFi Waveでは、開発者たちは現代的なゲームプレイと持続可能なトークノミクスを備えたAAA品質のブロックチェーンゲームを提供することを約束し多額の投資を集めた。一部のコミュニティは2023年にこれらの約束が実現されるのを待ち続けており、これらの内の数プロジェクトは**現在テスト版のプレイ可能があり、完成に近づいている**。

ParallelやBig Timeのようなタイトルが幅広く解放されて一定の成果を収めたことはトークン値動きを見れば明らかである。ビッグタイムのBIGTIMEトークンは最初のローンチから2023年10月に0.13ドル、昨年末には**269%増の0.44ドル**となった。ParallelのPRIMEトークンについても同様に150%の大幅な価格上昇を見せた。

一方、過去に成功を収めたチームは、2度目の挑戦に向けて準備をしている。2022年初頭の「Move-to-Earn」大流行の立役者であるSTEPNのクリエイターたちは、**より良いトークンシンクと保守的な排出**に重点を置いた最新作「Gas Hero」のリリースを目指している。

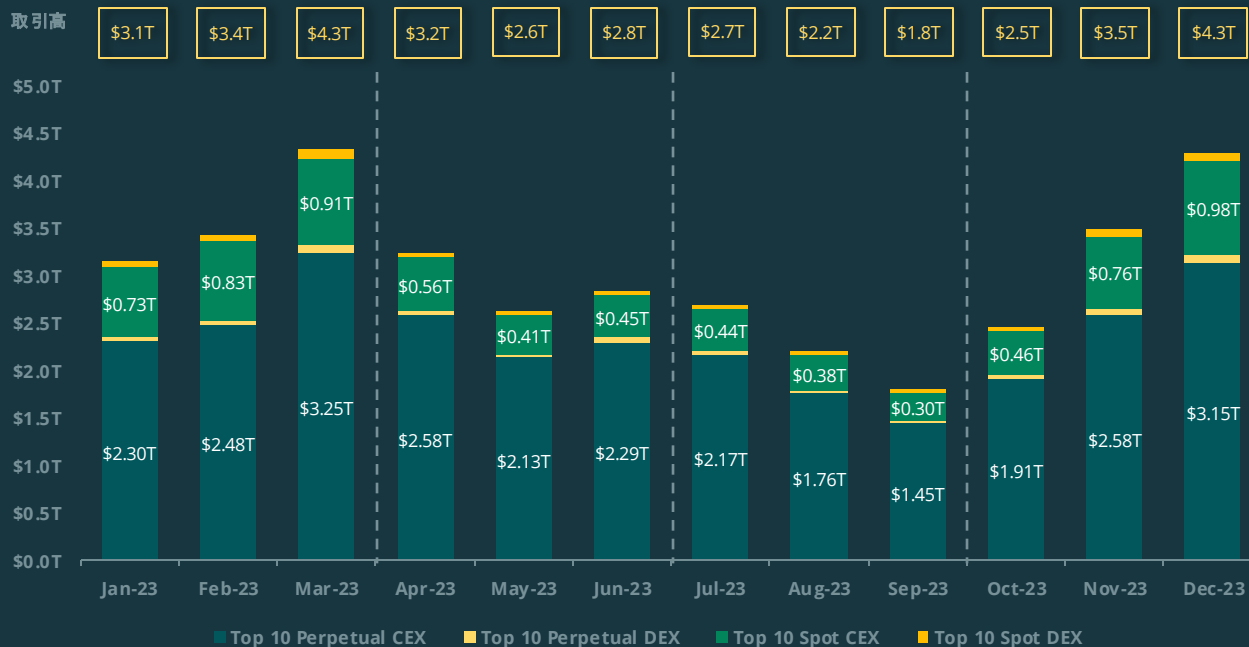
# 暗号資産取引所の外観

## 2023年 暗号資産取引所の取引高トップ

2023年第4四半期の取引高は前年同期比53.1%増の103億ドルとなり、前四半期比で初めて増加した。

暗号資産取引所の取引高トップ(2023年)

総取引高 (兆ドル)



**+53.1%**

2023年第4四半期における  
仮想通貨取引所取引高トップの  
増加率

2023年の暗号通貨の取引量は、**第3四半期から第4四半期にかけて53.1%増加**し、今年初めて前四半期比で増加した。

**12月の取引高は43兆ドルと急増**し、BTCETFへの期待感から市場のセンチメントは強気に振れた。

第4四半期のCEX: DEXスポット取引量の比率は91.5%前後で推移し、第3四半期と同様であった。

一方、CEX: DEXのデリバティブ取引高比率は98.5%から97.3%に低下した。

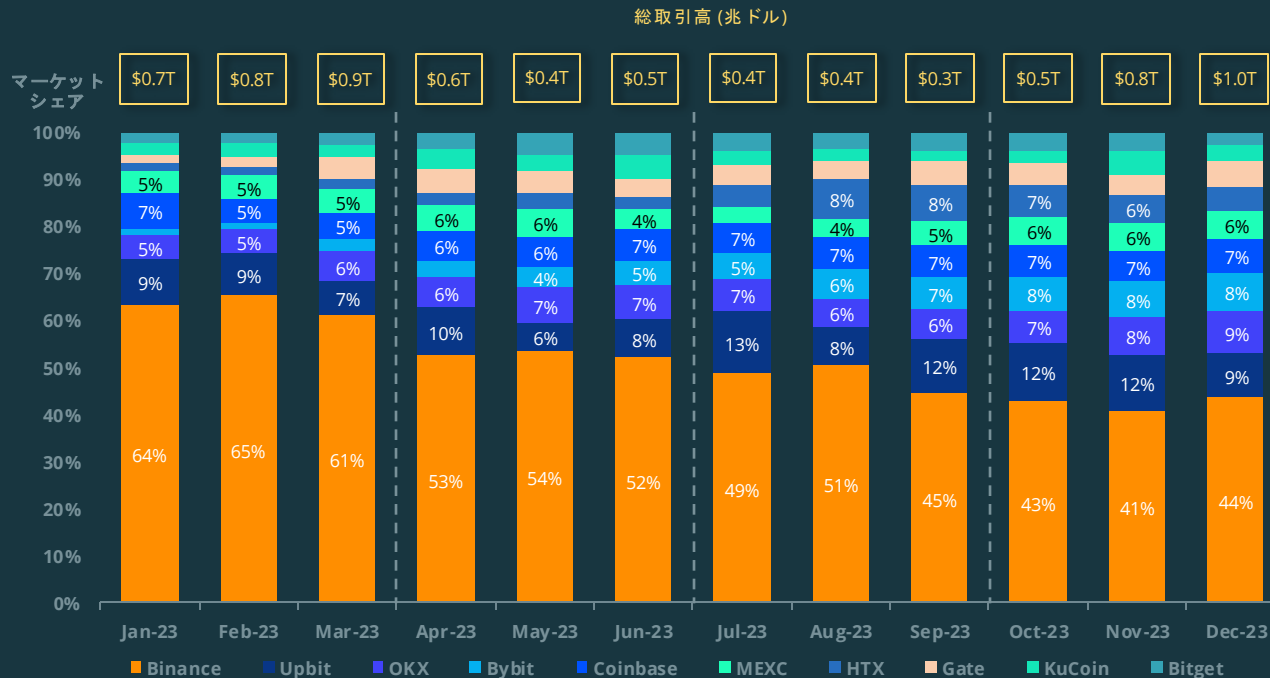
2023年のCEX: DEXスポット比率は91.4%、CEX:DEXデリバティブ比率は98.1%であった。

昨年はFTXが下落し、2023年を通してBinanceを取り巻くFUDがあったにもかかわらず市場を支配したのはCEXだった。

## 2023年スポット中央集権取引所(CEX)トップ10

BinanceのスポットCEX上位10銘柄に対する優位性は11月に年間最低の41%まで低下したが、2023年第4四半期を通して首位を維持し続けた。

スポットCEX取引高上位10社の内訳(2023年)



**+98.1%**

スポットCEX  
総取引高トップ10の増加率

上位10取引所の2023年第4四半期の**スポット取引高**は、2四半期連続で20億ドルを下回った後、**22億ドル**を記録した。これは**前四半期比98.1%の増加**ある。

バイナンスはスポットCEXの支配的地位を維持したが、2023年通年では市場シェアを落とし続けており、その市場占有率は43億ドルとCZの辞任で米国当局との和解が成立した11月に41%まで低下した。

第4四半期はBinance以外の上位10CEXすべてが成長したが、最も成長したのはMEXCの203.7%(904億ドル)だった。次いでBybitが162.1%(1,075億ドル)、KuCoinが161.2%(492億ドル)となった。KuCoinは第3四半期にトップ10入りを逃したが、第4四半期にはKrakenを抑えてトップ10入りを果たした。

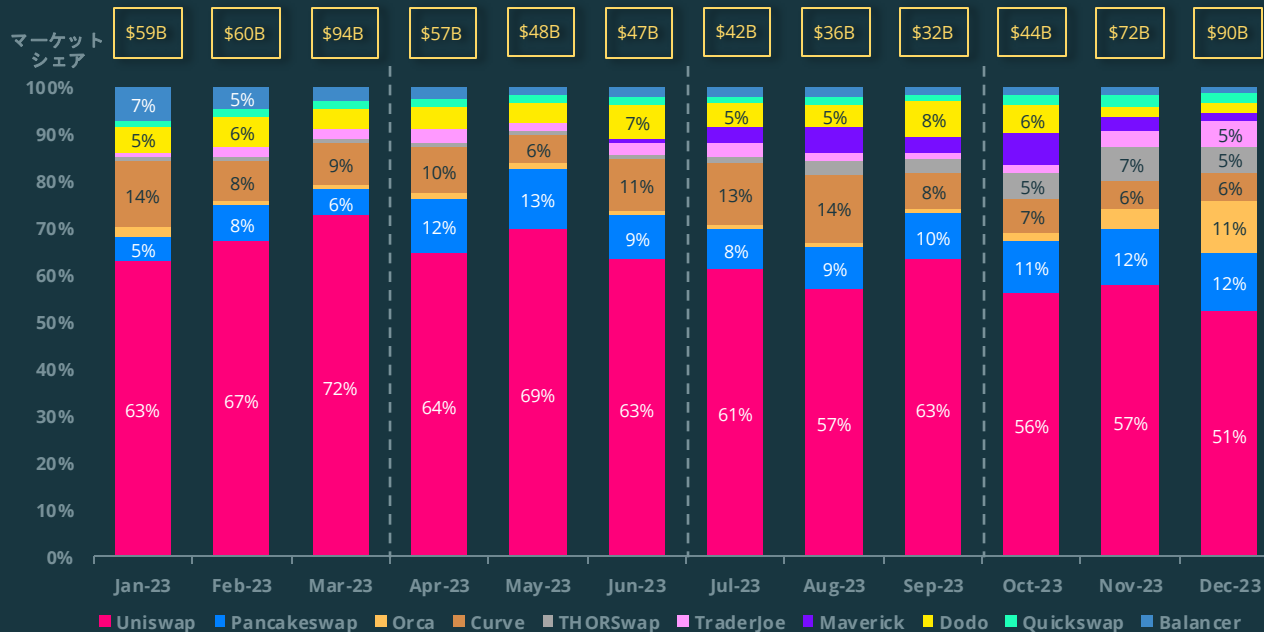
上位10CEXの総取引高は、2022年の9.4兆ドルに対し、2023年は7.2兆ドルとなり、**前年比23.4%減少**した。

## 2023年スポット分散型取引所(DEX)取引高トップ10

OrcaとTHORSwapが牽引し、2023年第4四半期のスポットDEX取引高上位10銘柄は87.1%増加した。

DEX取引高トップ10の内訳 (2023年)

総取引高(10億ドル)



**+87.1%**

スポットDEX上位10社の2023年第4四半期の総取引高増加率

上位10DEXの**2023年第4四半期のスポット取引高は合計2,053億ドル**で、前四半期比87.1%増となった。

Orcaは第4四半期にDEXの中で最も大きい**1,079%(122億ドル)の上昇**を見せた。これは、Solanaへの関心の高まりに起因している。

クロスチェーンDEXのTHORSwapも取引高が急増し、125億ドル、前四半期比は422.4%(101億ドル)増加した。

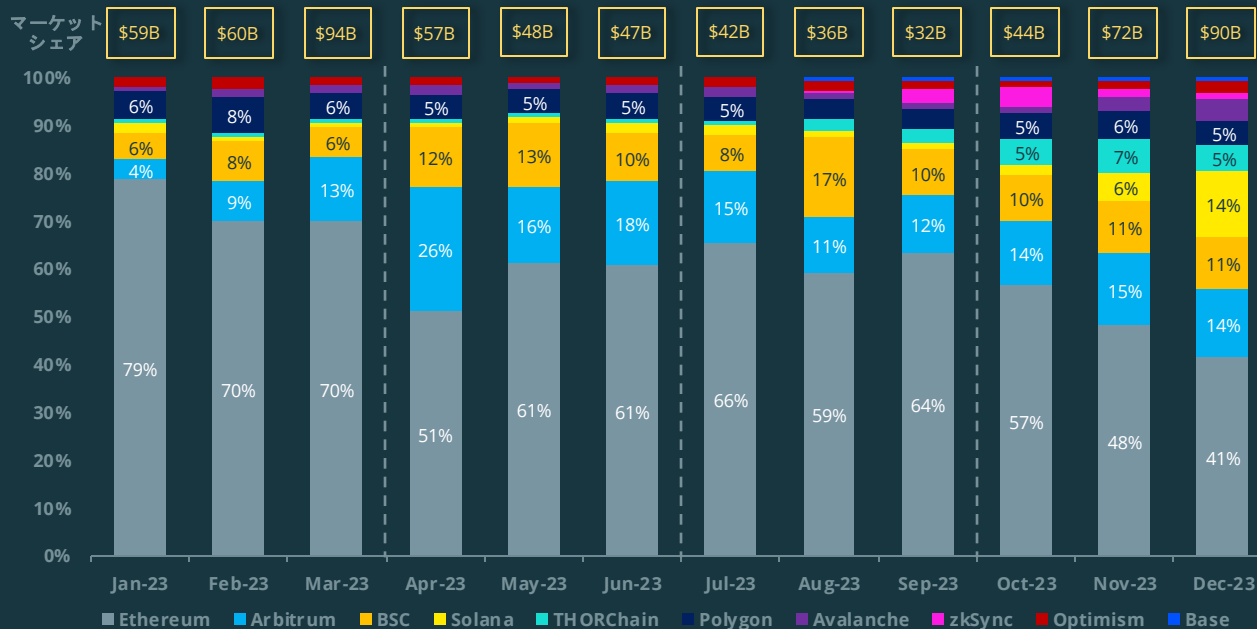
その後、プラットフォーム上での不正取引を食い止めるため、セーフガードが導入された。

## 2023年スポットDEX取引量のチェーン別内訳

Ethereumのマーケットシェアは12月に最低の41%まで落ち込んだ。Arbitrumが堅調な伸びを示し、Solanaは2023年末に急上昇したことで競争を引き離れた。

スポットDEX取引量のチェーン別内訳 (2023年)

総取引高(10億ドル)



Ethereumは2023年第4四半期に前四半期比で38.3%増加し、993億ドルのDEX取引高を獲得した。

第4四半期の取引量は増加したものの、他チェーンが追いついてきたため、11月と12月は2023年に入って初めて50%を割り込み、年初来最低の41%となった。

BSCは第4四半期も総合3位を維持したが、12月にはSolanaに抜かれた。BSCがランクを下げたのは、第1四半期にArbitrumに抜かれたのに続き2度目となった。

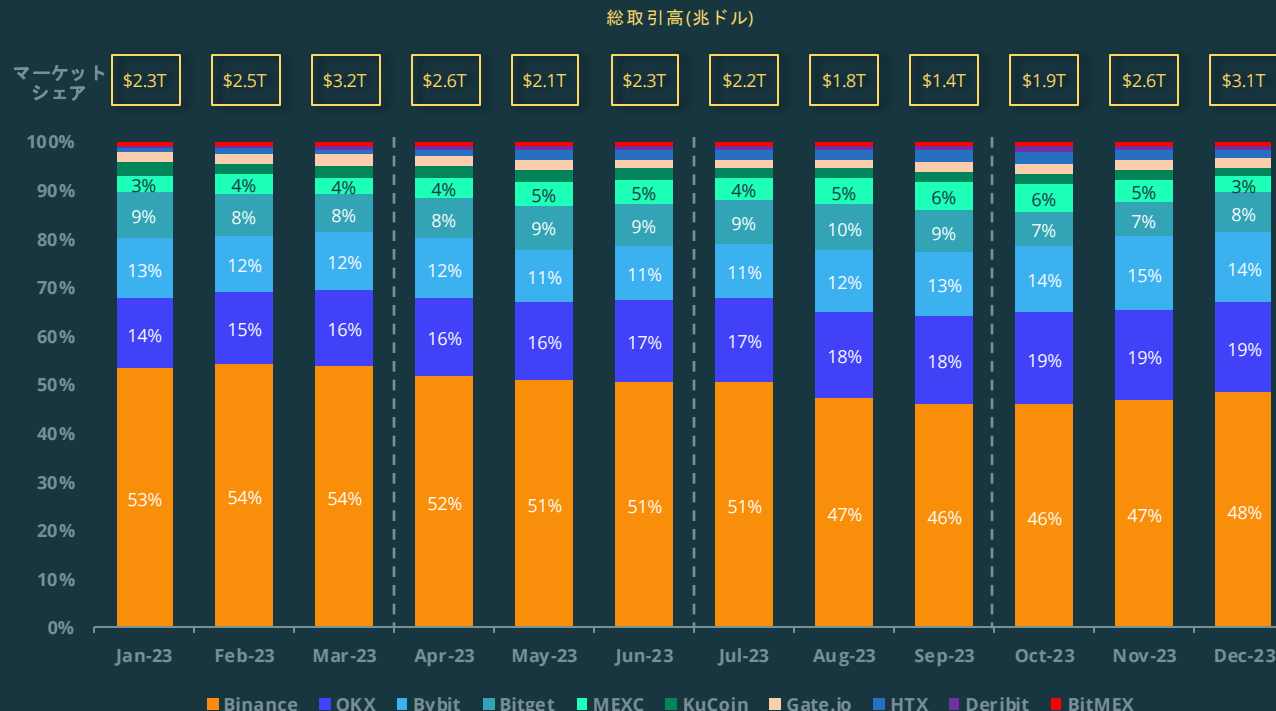
第4四半期に最も上昇したのはソラナで、前四半期比985%の大幅上昇となった。取引量に占めるシェアは6%から14%に上昇し、Arbitrumと並ぶまでに成長した。

THORChainは第4四半期に取引量が422.4%増加し、2番目に大きな利益を得た。この2つのチェーンは2023年12月にそれぞれ3位と5位にランクインしている。

## 2023年 中央集権型の永久先物取引所(永久先物CEX)取引高トップ10

2023年の永久先物CEXの総取引量は2022年の2倍以上となり、市場回復の明らかな兆候となったが、2021年の取引量にはまだ及ばない。

中央集権型の永久取引所取引高トップ10(2023年)



**+42.1%**

2023年第4四半期の  
中央集権型永続取引所トップ10  
の取引高増加率

上位10永久先物CEXの取引高は、第3四半期の5.4兆ドルから第4四半期には7.6兆ドルへと**力強く回復した**。この四半期は、2023年において第1四半期に次いで2番目に活発な四半期であった。

スポットCEX市場と同様に、Binanceは司法省との和解のニュースにもかかわらず、マーケットシェアを維持し、最大の永続CEXであり続けている。OKXとBybitもそれぞれ2位と3位を堅持している。

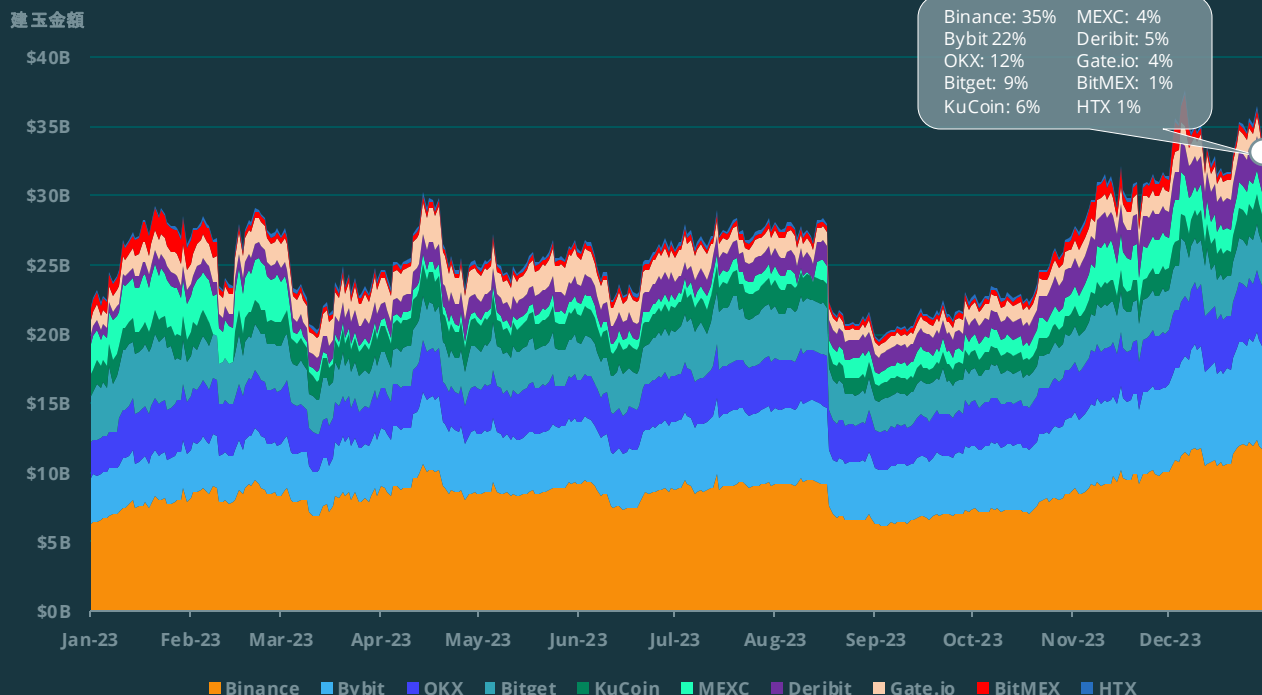
スポットCEX市場とは対照的に、トップ10永久先物CEXの総取引量は2023年に28兆ドルとなり、**2022年の総取引量11兆ドル2倍以上**となった。しかし、Binanceが単独で24兆ドルの永久先物取引量を記録した**2021年のブルマーケットの年間取引量にはまだ及ばない**。



## 2023年 中央集権型の永久先物取引所の建玉金(OI)上位10銘柄

合計建玉金額は300億ドルを超えて、過去2年間では最大値となった。建玉金のシェアはBinance, Bybit, OKXの上位3取引所に集約された。

中央集権型の永久先物取引所の建玉金 (OI) 上位10名型(2023年)



**+48.4%**

2023年10月1日～2023年12月31日までの中央集権型の永久先物取引所建玉金額トップ10の増加率

取引高と同様、第4四半期には、上位10カ所の永久取引所における建玉も急増し、今年最高値となった。12月5日に367億ドルとなり、**2022年のどの時点よりも高い水準**であった。

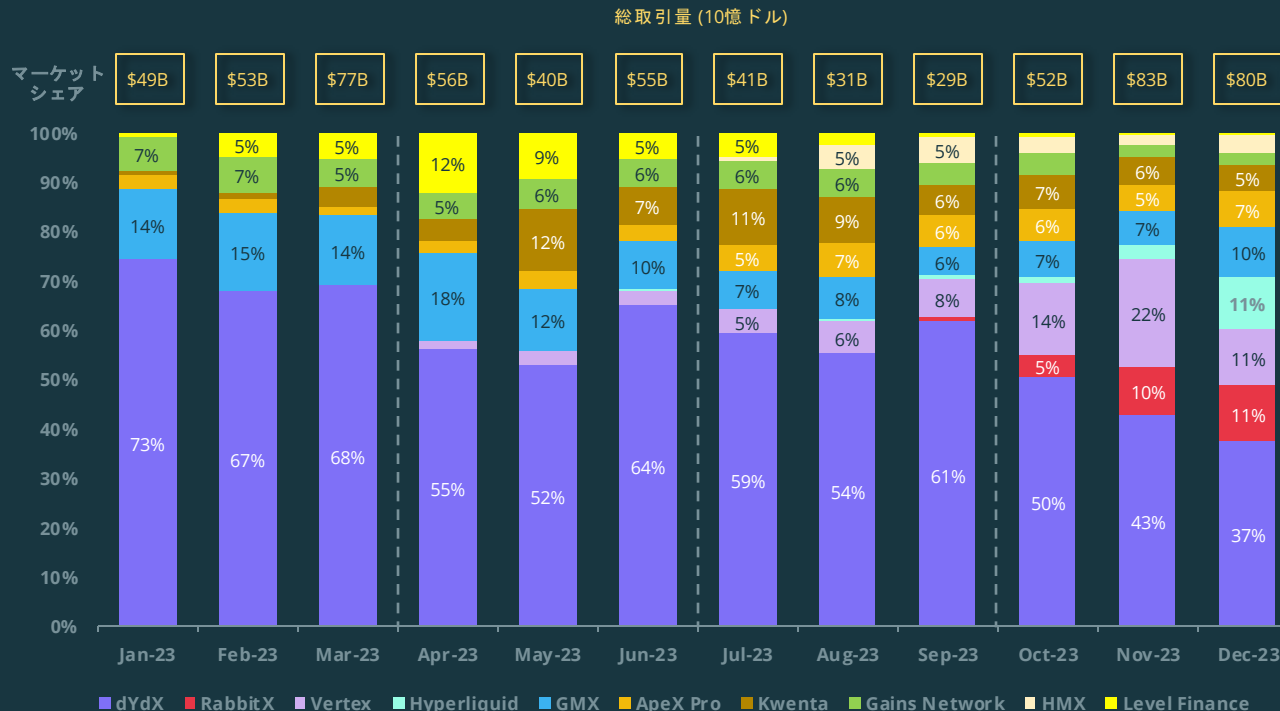
トップ10の永久先物取引所の建玉の大半は、Binance、Bybit、OKXの**トップ3取引所に集中**しており、2023年末の建玉金シェアは年初の~55%から~70%に拡大した。

米国のBTCスポットETFへの強い関心は、TradFiデリバティブ取引所**CMEのBTC先物取引の建玉も急増**させ、第4四半期のすべての永久先物取引所におけるBTC永久先物取引の建玉を牽引した。

## 2023年 分散型の永久先物プロトコルの取引量トップ10

dYdXは支配的な地位を維持第4四半期に急激に成長した分散型の永久先物プロトコル市場において、新たな市場参加者との大きな競争に直面している。

分散型の永久先物プロトコルの取引量トップ10 (2023年)



**+47.4%**

2023年第4四半期における分散型の永久先物プロトコルの取引量トップ10の増加率

永久先物CEXと同様に、**永久先物プロトコルも出来高が力強く回復し**、第3四半期には1,020億ドルだったものが第4四半期には2,150億ドルに達した。

第2四半期はKwentaが好調だが、下半期にはVertex, Hyperliquid, RabbitX and ApeX Proが新たな競争相手として登場した。

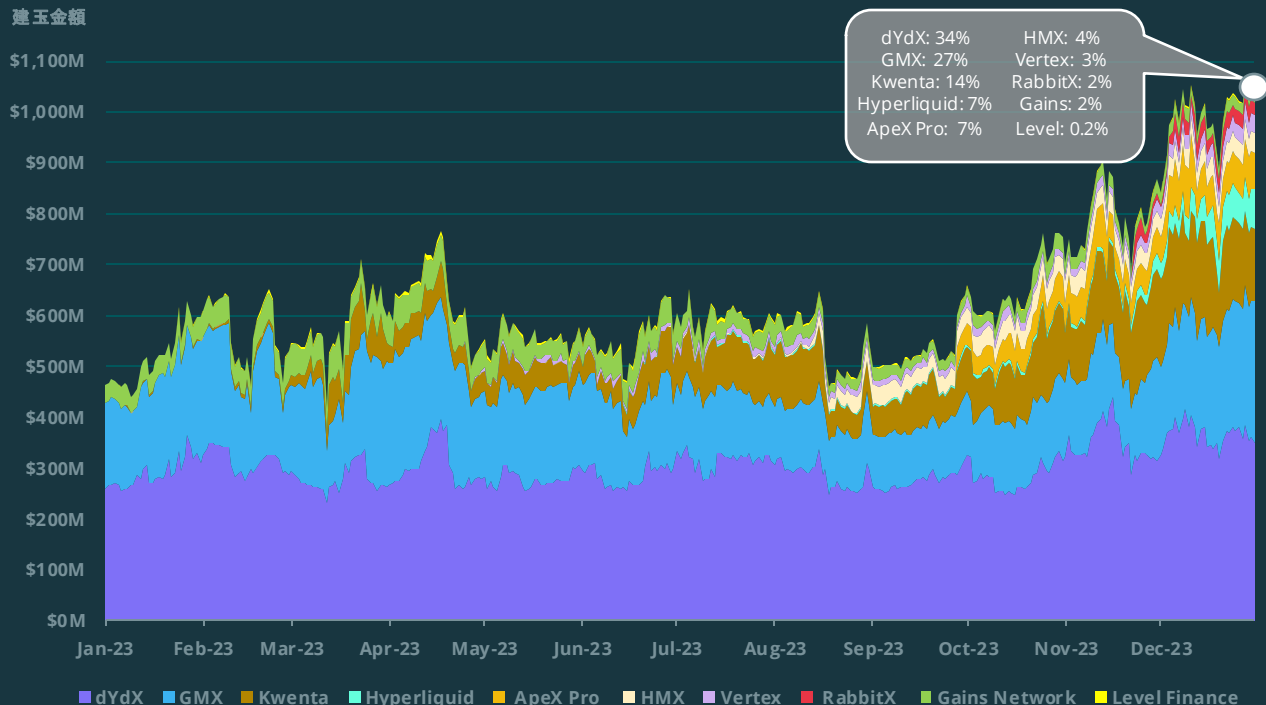
dYdXは、10月末にCosmosのエコシステムに移行した後も、2023年におけるトップの座を維持しているが、市場シェアは激しい競争末に1月の73%から12月には37%へと大幅に縮小した。しかし、これはむしろ**「パイの拡大」**現象である。

GMXはまた、Arbitrum STIPプログラムへの参加により、**第4四半期の販売量が回復した**と報告した。

## 2023年分散型の永久先物プロトコルの建玉金額トップ10

分散型の永久先物プロトコルの建玉金額は、新規参入と強気なセンチメントに支えられ2倍以上に増加し、10億ドル超に達した。

分散型の永久先物プロトコルの建玉金額(OI)上位10銘柄(2023年)



# +57.4%

分散型の永久先物プロトコルの建玉トップ10の上昇率(2023年Q4)

永久先物CEXと同様、トップ10永久先物プロトコルの建玉は前四半期比では+415%増、前年同期比では+123%増となり、年末までに10億4,000万ドルとなった。

しかし、これはまだ過去の水準を下回っている。2022年4月の時点では、dYdXは単独で建玉金額10億ドルを記録していた。

**KwentaのOJシェアは通年で着実に上昇し、14%のシェアを獲得した。**他の挑戦者(Hyperliquid、ApeX Pro、HMX、Vertex、RabbitX)は、取引量のシェアが高いにもかかわらず、建玉金のシェアはかなり低い。

dYdXの建玉金総額は3億ドル前後で安定していたが、dYdXのシェアは年初の56%から年末には34%に低下した。



FOLLOW US





ご閲覧いただきありがとうございます！